

# 民 生 費

## 1 社会福祉総務

◎社会福祉総務諸費

○社会福祉総務諸費

### (1) 行旅病人・死亡人援護【生活支援課】

区 分	件 数
行 旅 病 人	0 件
行 旅 死 亡 人	4

◎社会福祉振興費

○各種見舞金

### (1) 災害見舞金【生活支援課】

区 分	件 数	支 給 額
全 焼 又 は 全 壊	5 件	250,000 円
半 焼 又 は 半 壊	1	20,000
床 上 浸 水	0	0
弔 慰 金	1	50,000
傷 害 見 舞 金	0	0
合 計	7	320,000

### (2) 被爆者健康管理見舞金【生活支援課】

受 給 者 数	支 給 額
27 人	270,000 円

### (3) 難病療養者見舞金【生活支援課】

	人 数	延 べ 月 数	支 給 額
通 院	1,672 人	17,692 か月	61,479,000 円
入 院	38	346	1,621,000
合 計	1,710	18,038	63,100,000

◎福祉のまちづくり

○福祉のまちづくり

### (1) 福祉のまちづくり【生活支援課】

ア 福祉のまちづくりパトロールにより、指摘された危険箇所について応急処理工事を行い、歩行者の安全確保を図りました。

件 数	金 額	工 事 概 要
11 件	7,641,000 円	舗装補修、区画線補修、グレーチング蓋細目に取り替え、側溝蓋の交換、点字ブロックの設置等

イ ファシリティマネジメントの基本方針に基づく改修工事等を行い、公共施設のバリアフリー化を図りました。

件 数	金 額	整 備 概 要
6 件	5,809,320 円	多目的トイレ改修、便器の洋式化、玄関スロープ設置、携帯型集団補聴システムの購入整備

◎総合福祉会館管理費

○総合福祉会館管理費

(1) 総合福祉会館利用状況【生活支援課】

第1会議室	第2会議室	第3会議室	録音室	合計
544回	532回	561回	194回	1,831回

◎住宅困窮者民間賃貸住宅居住支援事業費

○住宅困窮者民間賃貸住宅居住支援事業費

- (1) ひとり親家庭等やDV被害女性世帯、高齢者世帯及び心身障がい者世帯の入居・居住継続支援として、家賃などの支払いができるにもかかわらず、「条件の合う住宅を探すのが困難」、「連帯保証人がいない」、「入居後の生活が不安」などの理由で、市内の民間賃貸住宅への入居が困難な世帯へ、入居の機会の確保及び入居後の安定した居住の継続を支援しました。平成28年度の相談件数及び利用申込状況は、次のとおりです。【営繕課】

相談件数 1件

内訳	ア 民間賃貸住宅情報の提供に関すること	1件
	イ 連帯保証人に関すること	0件
	ウ 民間賃貸住宅情報の提供及び連帯保証人に関すること	0件
	エ その他	0件

利用申込状況 0件

内訳	ア 「あっせんによる民間賃貸住宅の情報提供」の利用申込	0件
	イ 入居保証（連帯保証人がいない）を利用して入居	0件
	ウ イのうち保証料を助成したもの	0件

※ 居住支援相談を通して問題点の整理、協力不動産店の案内などを行うことで、自力で物件を探すことができ、賃貸借契約の締結に至ったと報告があったものは、上記相談件数のうち0件です。

◎臨時福祉給付金給付事業費

○臨時福祉給付金給付事業費

(1) 平成28年度臨時福祉給付金給付事業【行政管理課】

平成26年4月の消費税率引上げによる影響を緩和するため、所得が低い方々に対して、暫定的・臨時的な措置として、平成28年10月から平成29年3月までの半年分となる平成28年度臨時福祉給付金（3,000円）を支給しました。

支給人数	支給額
22,960人	68,880,000円

(2) 年金生活者等支援臨時福祉給付金（障害・遺族基礎年金受給者向け）給付事業【行政管理課】

賃金引上げの恩恵が及びにくい低年金受給者を支援するため、平成29年度から実施される予定の年金生活者支援給付金の前倒し的な位置付けとなる障害・遺族基礎年金受給者向け給付金（30,000円）を支給しました（平成28年度臨時福祉給付金と併給）。

支給人数	支給額
783人	23,490,000円

(3) 臨時福祉給付金給付事務【行政管理課】

平成28年度臨時福祉給付金及び年金生活者等支援臨時福祉給付金の支給に伴う業務委託料、通信運搬費や手数料等の事務費。

申請受付期間：平成28年8月23日～平成29年2月23日

(4) 臨時福祉給付金（経済対策分）給付事務【行政管理課】

平成26年4月の消費税率引上げによる影響を緩和するため、所得が低い方々に対して、暫定的・臨時的な措置として、平成29年4月から平成31年9月までの2年半分となる臨時福祉給付金（経済対策分）（15,000円）を支給する事業において、平成28年度は業務委託契約を締結し、3月2日に申請書を発送、3月3日から申請受付を開始しました。

◎生活困窮者自立支援事業

○生活困窮者自立支援事業

(1) 自立相談支援事業【生活支援課】

経済的困窮者の就労相談のほか、住宅喪失、多重債務、心の健康の問題、DV被害等、様々な社会的排除リスクに直面している方へ、自立生活実現のため解決すべき問題に対して、寄り添い型の支援を計画的かつ集中的、継続的に実施しました。

<開設日>

毎週 月～金（午前9時～午後5時）

<平成28年度の利用状況等>

相談者数 1,114人（新規相談者数 239人・継続相談者数 875人）

<2か年の状況>

区分	開所日数	相談者数			電話相談	就職決定者数
			うち新規	うち継続		
27年度	243日	890人	272人	618人	1,168件	32人
28年度	244	1,114	239	875	766	59

(2) 住居確保給付金事業【生活支援課】

離職者であって就労能力及び就労意欲のある者のうち、住宅を喪失している者又は喪失するおそれのある者に対して、家賃相当分を基本3か月支給し、生活の土台となる住居を整えた上で、就職に向けた支援を実施しました。

支給人数	延べ支給月数	支給額
2人	5か月	221,900円

(3) 学習支援事業【生活支援課】

経済的な理由により、学校以外に学習の機会の少ない家庭や病気などの理由で、失業・休業中の家庭などの市内在住の中学1年生から中学3年生までを対象に、英語と数学の無料学習支援「ステップアップセミナー」を開催し、高校進学や将来への希望を持って進路を選択し、自立した社会生活を営むことができるよう支援を実施しました。

開催期間については、平成28年4月4日（月）から平成29年3月31日（金）までの平日に於いて、学校の授業終了後、各会場で週1回実施しました。

なお、当該事業については平成28年度をもって終了し、平成29年度から対象を全中学生に拡大した「子ども未来教室」へ移行します。

曜日	月	火	水	木	金	金	合計
場所	中央公民館	二川公民館	木間ヶ瀬公民館	南コミュニティ会館	北コミュニティ会館	関宿公民館	6会場
開催数	49回	49回	50回	50回	50回	44回	292回
参加者数	33人	10人	20人	35人	36人	1人	135人

※ 関宿公民館については、開始当初に申込者がいなかったため5月20日（金）から開講しました。

## 繰越明許費

### ◎臨時福祉給付金給付事業費

#### ○臨時福祉給付金給付事業費

#### (1) 平成 27 年度から繰り越した事業【行政管理課】

事業名	支出額	概要
年金生活者等支援臨時福祉給付金（高齢者向け）給付事業 （申請受付期間：平成 28 年 4 月 19 日～8 月 19 日）	437,902,700 円	年金生活者等支援臨時福祉給付金及び給付に係る事務費

※ 支給人数 13,302 人、支給額 399,060,000 円

#### (2) 平成 29 年度へ繰り越した事業【行政管理課】

事業名	繰越額	概要
臨時福祉給付金（経済対策分）給付事業 （申請受付期間：平成 29 年 3 月 3 日～9 月 4 日）	500,614,981 円	臨時福祉給付金及び給付に係る事務費

## 2 人権施策推進

### ◎人権啓発費

#### ○人権啓発費

人権意識の高揚とあらゆる偏見・差別の解消を目的に、次の事業を実施しました。

#### (1) 啓発事業【人権・男女共同参画推進課】

##### ア 「人権擁護委員の日」記念講演会

開催日 平成 28 年 6 月 26 日（日）

会場 市役所 8 階大会議室

演題 「現代社会における人権問題」～インターネットやスマートフォンの落とし穴～

講師 佐藤 佳弘氏（武蔵野大学教授）

来場者 76 人

##### イ 野田市人権啓発推進企業連絡協議会研修会

開催日 平成 28 年 6 月 28 日（火）

会場 市役所 8 階大会議室

内容 「多様なセクシュアリティと職場環境」

講師 飯田 亮瑠氏（Diveinnon ダイバーノン代表）

参加者 54 人

##### ウ 子どもじんけん映画会

人権意識豊かな個人の育成を目的に、野田市産業祭に訪れた子ども（幼児・児童）を対象に映画会を開催しました。

開催日 平成 28 年 10 月 15 日（土）

会場 野田市総合福祉会館第 3 会議室

映画 「ともだちみーつけた」 他

来場者 229 人

##### エ 人権週間記念講演会 ※人権週間 12 月 4 日～12 月 10 日

平成 25 年度から講演会のあり方を見直し、実効性を保つため出前講座を基本とし、国・県の補助がある年度は講演会を実施することとしました（補助金は野田市、柏市、我孫子市の順に交付され、野田市は平成 26 年度に実施）。

オ 人権出前講座

開催日 平成 29 年 2 月 26 日 (日)  
会 場 野田市中央公民館 1 階講堂  
演 題 今から考える「悔いのない人生の過ごし方」  
講 師 明石 久美氏 (明石シニアコンサルティング代表)  
来場者 43 人

カ 企業人権教育研修会

人権教育・啓発の一環として、企業及び市管理職職員を対象に研修会を開催しました。

開催日 平成 29 年 2 月 17 日 (金)  
会 場 市役所 8 階大会議室  
内 容 「周囲の人へ思いやりを持てる職場づくり・人材育成」  
講 師 深谷 行弘氏 (シニア産業カウンセラー、キャリア・コンサルタント)  
映 画 上 映 「なぜ企業に人権啓発が必要なのか」  
参加者 49 人

キ 啓発パンフレット「人権ア・ラ・カルト」等の活用

市民への人権啓発推進のため、啓発パンフレット「人権ア・ラ・カルト」等の啓発資料を、各種研修会や人権講演会等で配布・活用し、啓発に努めました。

◎同和対策費

○同和対策費

同和問題の早期解決を図るため、次の事業を実施しました。

(1) 啓発事業【人権・男女共同参画推進課】

ア 啓発資料の活用

差別意識の解消に向け、各種研修会や人権講演会等で「人権ポケットブック」等の啓発資料を配布・活用し、啓発に努めました。

(2) 住宅新築資金等貸付事業【人権・男女共同参画推進課】

住宅新築資金等貸付事業の状況は、次のとおりです。

ア 平成 28 年度末償還件数 新築資金 41 件、改修資金 2 件、宅地取得資金 9 件、計 52 件

イ 償還状況(元金)

平成 27 年度末残高 a	平成 28 年度回収元金 b	平成 28 年度末残高 (a - b)
166,886,905 円	3,436,479 円	163,450,426 円

償還状況(元利計)

平成 27 年度末残高 a	平成 28 年度回収元利金 b	平成 28 年度末残高 (a - b)
196,119,047 円	3,711,815 円	192,407,232 円

◎男女共同参画費

○男女共同参画費

(1) 男女共同参画の推進【人権・男女共同参画推進課】

「第 3 次野田市男女共同参画計画」に基づく 5 つの基本目標に沿って、男女共同参画社会の実現に向けた各種施策を実施しました。

ア 女性委員の登用率の維持・拡大

関係各課と連携を図り、関係機関や団体等の協力のもと、「第3次野田市男女共同参画計画」で定められた審議会等における女性委員の目標登用率を50%にするとともに、女性のいない審議会等の解消に取り組みました。

女性委員登用率：45.8%（平成28年4月1日現在）

イ 男女共同参画に関する講演会等の開催による啓発推進

(ア) 千葉県立野田中央高等学校の3年生、同関宿高等学校の2年生、同清水高等学校の1年生を対象に、将来のDV被害防止に向けた若年層への意識啓発を図るため、「デートDV～お互いを尊重する関係とは～」と題した講演会を開催しました。

(イ) 一般市民を対象に、男女共同参画社会の実現に向けた市民一人一人の意識改革の推進を目的として、「ワーク・ライフ・バランス」をテーマに基調講演会及びトークショーを開催しました。

開催日 平成29年2月4日（土）

会場 市役所8階大会議室

基調講演会 萩原 なつ子氏（立教大学大学院21世紀社会デザイン研究科教授）

内容 「自ら進めるワーク・ライフ・バランス～第3の居場所づくり～」

トークショー 萩原 なつ子氏、林田 香織氏（ロジカル・ペアレンティングLLP代表）

内容 「ワーク・ライフ・バランスを推進させるには～職場と家庭の両面から考える～」

来場者 62人

ウ 男女平等教育資料「自分らしく」の配布・活用

キャリア教育の推進を図るため、男女平等教育資料「自分らしく」を各小中学校に配布し、活用を図りました。

エ 「女性のための相談」の実施

DV対応を含めた女性の抱える様々な悩みなどに対し、相談者が自らの力で解決していけるよう、NPO法人ワールドに委託し、カウンセラーによる面接相談、電話相談を実施しました。

相談件数：延べ137件

オ 女性情報コーナーの充実

興風図書館内及びせきやど図書館内にある女性情報コーナーの蔵書の充実を図り、利用に供しました。

平成28年度末蔵書数：1,029冊（興風図書館825冊・せきやど図書館204冊）

(2) 女性活躍推進法に基づく市町村推進計画の位置付け【人権・男女共同参画推進課】

女性活躍推進法の施行を受け、第3次野田市男女共同参画計画を女性活躍推進法に基づく市町村推進計画と一体のものとして位置付け、更なる女性の職業生活における活躍の推進に取り組んでいくこととしました。

○ドメスティック・バイオレンス対策費

(1) 配偶者暴力相談支援センター業務の推進【人権・男女共同参画推進課】

「第2次野田市ドメスティック・バイオレンス総合対策大綱」に基づき、相談・保護・自立までの一貫した支援を行いました。

D V 相 談 件 数	延べ282件
一 時 保 護 件 数	延べ2件（延べ人数4人） <市民延べ2件（延べ人数4人）>
一 時 保 護 日 数	延べ28日

○緊急一時保護施設管理運営費

(1) 緊急一時保護施設（シェルター）の運営【人権・男女共同参画推進課】

緊急一時保護施設（シェルター）の運営をNPO法人「のだフレンドシップ青い鳥」に委託し、DV被害女性等の保護及び自立に向けた支援を行いました。

◎人権擁護費

○人権擁護費

(1) 人権相談【人権・男女共同参画推進課】

市民の人権を擁護し、また、人権を侵害された場合はその救済を図ることを目的に、人権擁護委員による人権相談を市役所及びいちいのホールにおいて毎月4回実施しました。

相談件数：9件

(2) 小学生人権教室【人権・男女共同参画推進課】

小学4年生を対象に、自分の人権を守ることと同じように、他人の人権を尊重しなければならないという人権尊重思想の基本的な考えを理解することを目的に「人権教室」を実施しました。

開催日及び実施校	平成28年12月6日（火）	北部小学校	参加者	114人（4年生）
	平成28年12月9日（金）	山崎小学校	参加者	131人（3、4年生）
	平成28年12月14日（水）	宮崎小学校	参加者	85人（4年生）
講 師	人権擁護委員（柏人権擁護委員協議会野田部会）			

(3) 中学生人権講演会【人権・男女共同参画推進課】

中学生を対象に人権思想の普及と啓発を目的に、「いじめ」をテーマにした人権講演会を開催しました。

開催日及び実施校	平成28年6月2日（木）	二川中学校	参加者	258人
	平成28年6月3日（金）	福田中学校	参加者	185人
	平成28年7月4日（月）	川間中学校	参加者	306人
	平成28年7月7日（木）	北部中学校	参加者	473人
講 師	小森 美登里氏・小森 新一郎氏（NPO法人 ジェントルハートプロジェクト）			

### 3 福祉会館

◎福祉会館管理運営費

○福祉会館管理運営費

(1) 福祉会館では、福祉の向上及び人権啓発のための住民交流の拠点となる地域のコミュニティセンターとして、主に次の事業を実施して一定の効果をあげることができました。【人権・男女共同参画推進課】

ア 講座

29 講座を開催し延べ 7,695 人の参加があり、各種講座においては、教養・文化活動の向上を図るとともに受講生同士の人間関係づくりを大切に事業の推進に努めました。

イ 地域交流活動事業

8 事業を実施し 6,948 人の参加があり、特に会館まつりでは、地元自治会等の協力を得て地域の人たちと一体となって「交流の場」「ふれあいの場」として各会館を一日開放し、楽しいひと時を過ごしていただくとともに会館事業のPRに努めました。

ウ 啓発事業

受講生対象に 58 回延べ 1,106 人の参加を得て会館事業への理解を深めていただくとともに、地域住民等を対象

に人権学習会を2会館で実施し、延べ101人の参加を得て人権意識の高揚に努めました。

エ 相談事業

随時、様々な相談に応じ、必要があるときは関係行政機関等に連絡、紹介を行うほか、その他適切な支援を行うよう努めました。

オ 開館業務（火曜日）

開館業務をシルバー人材センターに委託し、903件、8,680人の利用があり、サービスの向上に努めました。

(2) 利用状況【人権・男女共同参画推進課】

館名	開館日数	利用件数	延べ利用者数
谷吉会館	298日	1,084件	12,258人
七光台会館	298	1,505	25,941
島会館	298	1,338	19,421
関宿会館	298	1,495	14,143

(3) 主催事業【人権・男女共同参画推進課】

ア 講座

館名	講座名	内容	
谷吉会館	着付	年16回	延べ人員 220人
	民謡民舞と安来節	10	165
	パッチワーク・ハワイアンキルト	15	211
	書道	16	209
	茶道	16	232
	毛糸編	16	224
	手作りお菓子	8	59
七光台会館	茶道	16	301
	手編	16	213
	生花	16	272
	書道	16	233
	カラオケ	16	970
	ヨガ	16	211
	リズム体操	16	447
	パッチワーク	16	285
	油絵	16	183
島会館	民謡	16	174
	茶道	16	267
	書道	16	305
	大正琴	16	105
	生花	16	175
	手編	16	234
	囲碁	16	105
	カラオケ	16	727
関宿会館	書道	16	353
	料理	16	230
	ハワイアン・フラ	16	128



関宿会館	手 編	16	258
	絵 手 紙	16	199

イ 地域交流活動事業

館 名	事 業 名	内 容	
谷吉会館	子ども造形ひろば	工作教室	3回 35人
	会館まつり	地域内外交流	1 1,340
七光台会館	子ども造形ひろば	工作教室	3 42
	会館まつり	地域内外交流	1 2,323
島会館	子ども絵画教室	絵画教室	1 30
	会館まつり	地域内外交流	1 2,363
関宿会館	子ども造形ひろば	工作教室	3 85
	会館まつり	地域内外交流	1 730

(4) 啓発事業【人権・男女共同参画推進課】

館 名	事 業 内 容		
谷吉会館	隣保館事業について	受講生対象	14回 201人
七光台会館	隣保館事業について	受講生対象	18 396
島会館	隣保館事業について	受講生対象	16 344
	人権学習会「江戸時代に見る人権擁護」	地域住民等対象	1 56
関宿会館	隣保館事業について	受講生対象	10 165
	人権学習会「江戸時代に見る人権擁護」	地域住民等対象	1 45

(5) 相談事業【人権・男女共同参画推進課】

館 名	相 談 内 容 と 件 数				
	年金相談	税の申告相談	福祉相談	その他相談	合 計
谷吉会館	0件	1件	1件	8件	10件
七光台会館	1	1	3	6	11
島会館	0	1	3	12	16
関宿会館	0	0	0	7	7

(6) 保健事業【人権・男女共同参画推進課】

館 名	事 業 内 容		
谷吉会館	健康相談	12回	97人
	いきいき体操（地域高齢者）	16	145
七光台会館	健康相談	12	33
島会館	健康相談	12	112

(7) 貸館事業【人権・男女共同参画推進課】

館 名	件 数	利 用 人 数
谷吉会館	931件	9,110人
七光台会館	1,316	20,021
島会館	1,163	14,408
関宿会館	1,393	11,943

## 4 障がい者福祉

◎自立支援給付事業

○介護給付費

(1) 居宅介護（身体・知的・障がい児・精神）【障がい者支援課】

種 別	利用時間等	利用人数	
		延べ人数	実利用人数
身 体 介 護	7,020 時間	527 人	55 人
家 事 援 助	10,593	995	99
通 院 介 助	350	68	9

(2) 重度訪問介護（身体）【障がい者支援課】

利用時間	利用人数	
	延べ人数	実利用人数
2,792 時間	49 人	4 人

(3) 短期入所（身体・知的・障がい児・精神）【障がい者支援課】（あおい空実施分を除く）

利用日数	利用人数	
	延べ人数	実利用人数
3,486 日	624 人	92 人

(4) 療養介護（身体）【障がい者支援課】

利用日数	利用人数	
	延べ人数	実利用人数
4,745 日	159 人	14 人

(5) 高額障害福祉サービス【障がい者支援課】

種 別	実利用人数
高額障害福祉サービス等給付費	26 人
高 額 障 害 児 通 所 給 付 費	32

(6) 同行援護（身体）【障がい者支援課】

利用時間	利用人数	
	延べ人数	実利用人数
3,650 時間	228 人	26 人

(7) 計画相談（身体、知的、精神）【障がい者支援課】

利用相談事業所数	実利用人数
48 件	597 人

(8) 行動援護（知的、精神）【障がい者支援課】

利用時間	利用人数	
	延べ人数	実利用人数
3,837 時間	276 人	34 人

○訓練等給付費

(1) 共同生活援助（グループホーム）【障がい者支援課】

区 分	入居施設数	実利用人数
身 体 障 が い 者	3 か所	4 人
知 的 障 が い 者	33	89
精 神 障 が い 者	12	29

○補装具給付費

(1) 補装具（障がい者、障がい児）【障がい者支援課】

種 別	件 数
義 肢	21 件
装 具	80
座 位 保 持 装 置	27
補 聴 器	67
車 椅 子	47
そ の 他	29
合 計	271

○障がい者施設支援給付費

(1) 障がい者施設支援【障がい者支援課】

種 別	利用施設数	実利用人数
生 活 介 護	63 か所	301 人
施 設 入 所 支 援	38	100
自 立 訓 練（機 能 訓 練）	1	1
自 立 訓 練（生 活 訓 練）	8	15
宿 泊 型 自 立 訓 練	1	1
就 労 移 行 支 援	17	48
就 労 継 続 支 援（A 型）	20	64
就 労 継 続 支 援（B 型）	25	103
合 計	173	633

○自立支援医療費

(1) 自立支援医療（更生医療）【障がい者支援課】

種 別	利用人数
視 覚 障 が い	0 人
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 が い	0
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 が い	3
肢 体 不 自 由	0
心 臓 機 能 障 が い	0
じ ん 臓 機 能 障 が い	58
小 腸 機 能 障 が い	0
肝 臓 機 能 障 が い	1
免 疫 機 能 障 が い	31
合 計	93

## (2) 自立支援医療（育成医療）【障がい者支援課】

種 別	利用人数
視 覚 障 がい	2 人
聴 覚 ・ 平 衡 機 能 障 がい	1
音 声 ・ 言 語 ・ そ し ゃ く 機 能 障 がい	4
肢 体 不 自 由	8
心 臓 機 能 障 がい	3
じ ん 臓 機 能 障 がい	0
小 腸 機 能 障 がい	1
肝 臓 機 能 障 がい	0
そ の 他 の 内 臓 障 がい	3
免 疫 機 能 障 がい	0
合 計	22

## ◎地域生活支援事業

## ○コミュニケーション支援事業費

## (1) 手話奉仕員派遣事業【障がい者支援課】

事 業	利用件数	利用登録者	手話通訳者
手話通訳者の派遣	580 件	52 人	6 人

## (2) 要約筆記奉仕員派遣事業【障がい者支援課】

事 業	利用件数	利用登録者	要約筆記者
要約筆記者の派遣	252 件	52 人	10 人

## (3) 手話通訳者設置事業【障がい者支援課】

事 業	内 容
手話通訳者の設置	設 置 日 市 役 所 月・火曜日 9:00～13:00 水・木曜日 13:00～17:00 関宿支所 金曜日 13:00～17:00 設 置 日 数 243 日 延べ利用人数 472 人、延べ利用件数 661 件

## (4) 行事開催及び参加状況【障がい者支援課】

事 業	内 容
園芸福祉（枝豆等栽培）	開 催 日 4 月 20 日（枝豆苗植付け） 場 所 船形地先第二の福祉ゾーン隣接農地 参加者数 障がい者等 31 人
	開 催 日 5 月 25 日（除草作業、さつま芋苗植付け） 場 所 船形地先第二の福祉ゾーン隣接農地 参加者数 障がい者等 29 人
	開 催 日 6 月 15 日（除草作業） 場 所 船形地先第二の福祉ゾーン隣接農地 参加者数 障がい者等 43 人
	開 催 日 7 月 1 日（枝豆収穫、販売） 場 所 船形地先第二の福祉ゾーン隣接農地 参加者数 障がい者等 8 人
	開 催 日 7 月 6 日（枝豆収穫、販売） 場 所 船形地先第二の福祉ゾーン隣接農地 参加者数 障がい者等 29 人

園芸福祉（枝豆等栽培）	開催日	7月27日（除草作業）
	場 所	船形地先第二の福祉ゾーン隣接農地
	参加者数	障がい者等 19 人
	開催日	8月31日（除草作業）
	場 所	船形地先第二の福祉ゾーン隣接農地
園芸福祉（枝豆等栽培）	参加者数	障がい者等 30 人
	開催日	9月21日（大根種まき）
	場 所	船形地先第二の福祉ゾーン隣接農地
	参加者数	障がい者等 21 人
	開催日	10月5日（さつまいも収穫）
園芸福祉（枝豆等栽培）	場 所	船形地先第二の福祉ゾーン隣接農地
	参加者数	障がい者等 37 人
	開催日	12月16日（大根収穫、販売）
	場 所	船形地先第二の福祉ゾーン隣接農地
	参加者数	障がい者等 24 人
第 42 回おひさまといっしょに	開催日	6月18日
第 42 回おひさまといっしょに	場 所	関宿総合公園体育館
	参加者数	障がい者等 1,000 人
平成 28 年度千葉県障害者スポーツ大会	開催日	5月22日
平成 28 年度千葉県障害者スポーツ大会	場 所	千葉県総合スポーツセンター陸上競技場
	参加者数	選手等（応援等含む）44 人
第 37 回野田市障がい者釣大会	開催日	6月4日
第 37 回野田市障がい者釣大会	場 所	旧関宿クリーンセンター調整池
	参加者数	障がい者等 85 人

○日常生活用具給付等事業費

(1) 日常生活用具給付（障がい者、障がい児）【障がい者支援課】

用 具	利用件数
特殊寝台	1 件
特殊マット	0
特殊尿器	0
入浴担架	0
体位変換器	1
移動用リフト	0
訓練椅子	0
訓練用ベッド	0
入浴補助用具	11
便器	1
歩行補助杖	2
移動又は移乗支援用具	9
頭部保護帽	7
特殊便器	0
火災警報機	0
自動消火器	0
電磁調理器	0
歩行時間延長信号機用小型送信機	0
聴覚障がい者用屋内信号装置	4
透析液加温器	2
ネブライザー	2
電気式たん吸引器	5
酸素ボンベ運搬車	0

盲人用体温計（音声式）	2
盲人用体重計	2
携帯用会話補助装置	2
情報・通信支援用具	5
点字ディスプレイ	0
点字器	0
点字タイプライター	0
視覚障がい者用ポータブルレコーダー	3
視覚障がい者用活字文書読上げ装置	1
視覚障がい者用拡大読書器	7
盲人用時計	3
聴覚障がい者用通信装置	4
聴覚障がい者用情報受信装置	0
人工咽頭	1
福祉電話（貸与）	0
ファックス（貸与）	0
点字図書	0
ストーマ装具	2,737
紙おむつ	339
収尿器	2
居宅生活動作補助用具	1
動脈血中酸素飽和度測定器	0
視覚障がい者用デジタル放送対応ラジオ	0
合 計	3,154

○移動支援事業費

(1) 移動支援【障がい者支援課】

区 分	利用時間	実利用人数
身 体 障 が い 者	447 時間	7 人
知 的 障 が い 者	7,580	62
精 神 障 が い 者	201	3
障 が い 児	2,959	32
合 計	11,187	104

○障がい者等一時支援事業費

(1) 障がい者等一時支援【障がい者支援課】（あおい空実施分を除く）

区 分	利用回数	実利用人数
身 体 障 が い 者	76 回	4 人
知 的 障 が い 者	4,477	89
精 神 障 が い 者	27	1
障 が い 児	4,285	56
合 計	8,865	150

○地域活動支援センター事業費

(1) 地域活動支援センター【障がい者支援課】

事業	施設数	相談件数
相談支援事業	1か所	141件

事業	施設数	実利用人数
基礎的事業及び機能強化事業	8か所	104人
重 度 加 算	3	19
家 賃 補 助	3	—

○訪問入浴サービス事業費

(1) 訪問入浴サービス事業【障がい者支援課】

事業	延べ利用回数	実利用人数
訪問入浴サービス	322件	10人

○奉仕員養成・研修事業費

(1) 手話奉仕員養成講座【障がい者支援課】

事業	内 容
手話奉仕員養成講座（後期）	開催日 平成28年6月9日～29年1月19日 場 所 総合福祉会館 第3会議室 参加者数 9人

(2) 要約筆記者養成講座（2年に1回）【障がい者支援課】

事業	内 容
要約筆記者養成講座	開催日 平成28年6月17日～29年2月3日 場 所 総合福祉会館 第3会議室 参加者数 2人

○自動車運転免許取得・改造費助成事業費

(1) 自動車運転免許取得費の助成【障がい者支援課】

事業	利用件数
自動車運転免許取得費の助成	0件

(2) 自動車改造費の助成【障がい者支援課】

事業	利用件数
自動車改造費の助成	0件

○生活訓練等事業費

(1) 生活訓練等事業【障がい者支援課】

事業	内 容
障がい者パソコン講習会	開催日 平成28年10月3日～11月28日 場 所 野田公民館 参加者数 4人（対象 身体障がい者）
障がい者料理教室	開催日 平成28年11月25日 場 所 保健センター2階 参加者数 9人（対象 身体・知的・精神障がい者）

◎障がい者援護対策費

○障がい者援護対策費

(1) 身体障がい者福祉対策事業【障がい者支援課】

事業	受給者数	延べ支給月数
身体障がい者福祉手当	2,660人	31,920月

(2) 知的障がい者福祉対策事業【障がい者支援課】

事業	受給者数	延べ支給月数
知的障がい者福祉手当	126人	1,509月
重度知的障がい者福祉手当	126	1,521

(3) 特別障害者手当等【障がい者支援課】

事業	受給者数	延べ支給月数
特別障害者手当	163人	1,881月
障害児福祉手当	85	1,043
経過的福祉手当	7	84

(4) 特別児童扶養手当【障がい者支援課】

種別	支給対象児数 A	支給停止人数 B	認定者数 A+B
1級	104人	10人	114人
2級	199	13	212
合計	303	23	326

※ ただし、手当については国から保護者に直接支給されます。

(5) 障がい者各種援護事業【障がい者支援課】

事業	内容
心身障がい者結婚祝金	受給者数 2人
福祉カー貸出し	利用件数 87件 延べ日数 218日
知的障害者生活ホーム運営事業補助	施設数 2施設 実利用人数 2人
障がい者等グループホーム運営費補助	施設数 18施設
福祉タクシー利用料金の助成	登録事業所数 58事業所 (60営業所)
	延べ利用件数 9,539件 利用人数 456人
身体障害者手帳交付診断料助成	利用件数 323件 利用人数 323人
精神障害者保健福祉手帳交付診断料助成	利用件数 125件 利用人数 125人
心身障がい者短期保護委託料助成	利用件数 23件 利用人数 5人
障害者支援施設等通所者交通費助成	施設数 51施設 利用人数 236人
傷害保険料助成	施設数 41施設 利用人数 345人
障がい者グループホーム等入居者家賃助成	施設数 48施設 利用人数 85人
重症心身障害児等短期入所特別支援事業	施設数 1施設 利用人数 2人

◎障がい者医療費

○障がい者医療費【障がい者支援課】

事業	受給者数	利用件数
重度身体障がい者医療費助成	2,699人	67,242件
重度知的障がい者医療費助成	600	8,754
重度精神障がい者医療費助成	179	3,298
精神障がい者医療費助成	121	769



## 5 障がい者相談支援

### ◎障がい者相談支援費

#### ○障がい者相談支援費

(1) 平成 28 年度においては、延べ 971 件（実人員 379 人、1 日平均 4.0 件）の相談支援の利用がありました。

支援内容では、「福祉サービスの利用等に関する支援」、「障がいや病状の理解に関する支援」、「不安の解消・情緒安定に関する支援」及び「家族関係・教育に関する支援」で全体の約 7 割を占めており、「不安の解消・情緒安定に関する支援」が特に多くなっています。【障がい者支援課】

内 容	件 数
福祉サービスの利用等に関する支援	200 件
障がいや病状の理解に関する支援	97
健康・医療に関する支援	59
不安の解消・情緒安定に関する支援	310
保育・教育に関する支援	3
家族関係・人間関係に関する支援	103
家計・経済に関する支援	37
生活技術に関する支援	46
就労に関する支援	52
社会参加・余暇活動に関する支援	21
権利擁護に関する支援	43
その他	0
合 計	971

(2) 身体障害者福祉法第 12 条の 3 及び知的障害者福祉法第 15 条の 2 に基づき委託している野田市障がい者相談員 11 名には、述べ 726 件の相談支援の利用がありました。【障がい者支援課】

区 分	内 容	件 数
個 別 相 談	手帳交付	0 件
	医療	8
	補装具等	1
	障害福祉サービス等	24
個 別 相 談	年金	2
	扶養年金	0
	福祉手当	3
	生活	48
	住宅	4
	仕事	3
	結婚	3
	税金	0
その他	81	
団 体 相 談	会議、行事等の参加	514
	その他	35
合 計		726

(3) 障がい者に対する虐待対応【障がい者支援課】

「障害者虐待防止、障害者の養護者に対する支援等に関する法律」に基づき、障がい者の虐待通報、届出等に対応しました。

区 分	件 数
通報、届出件数	11 件
虐待認定件数	4

(4) 障がい者に対する差別対応【障がい者支援課】【人事課】

「障害を理由とする差別の解消の推進に関する法律」に基づく、障がいを理由とする差別の相談 2 件に対応しました。

(5) 障がい者就労施設等からの物品等の調達方針【障がい者支援課】

「国等による障害者就労施設等からの物品等の調達の推進等に関する法律」第 9 条に基づき市の調達方針を制定し、各部署における障がい者施設からの物品等の購入を促進しました。

内 容	金 額
平成 28 年度調達目標	910,000 円
平成 28 年度購入実績	931,700

## 6 心身障がい者福祉作業所

◎心身障がい者福祉作業所運営諸費

○心身障がい者福祉作業所運営諸費

(1) 心身障がい者福祉作業所【障がい者支援課】

雇用されることが困難な障がい者が必要な訓練や指導などを通じて、自立促進の場としての貴重な役割を果たしました。

作業所名	概 要
心身障がい者福祉作業所	平成 18 年 4 月 1 日から指定管理者制度を導入 指定管理者 社会福祉法人野田みどり会 指定期間 5 年間（平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで） 利用人数 平成 29 年 3 月 31 日現在 44 人（男 20 人・女 24 人） 生活介護利用者 29 人（男 13 人・女 16 人） 就労継続支援 B 型利用者 15 人（男 7 人・女 8 人）
関宿心身障がい者福祉作業所	平成 18 年 4 月 1 日から指定管理者制度を導入 指定管理者 社会福祉法人は一とふる 指定期間 5 年間（平成 24 年 4 月 1 日から平成 29 年 3 月 31 日まで） 利用人数 平成 29 年 3 月 31 日現在 16 人（男 13 人・女 3 人）

(2) 社会参加行事【障がい者支援課】

ア 心身障がい者福祉作業所

行事名	回 数	場 所
おひさまといっしょに	1 回	野田市関宿総合公園体育館
サ ン ス マ イ ル	1	野田市文化会館
文 化 祭 （ 展 示 ）	1	野田市中央公民館
外 出 行 事 （ 所 外 活 動 ）	4	浅草～お台場水上バス遊覧（2 回）、那須甲子青少年自然の家、崎陽軒横浜工場
家 族 懇 親 会	1	クリアビューホテル

## イ 関宿心身障がい者福祉作業所

行事名	回数	場所
文化祭（展示）	1回	野田市中央公民館
展示即売会	8	関宿城桜祭、野田病院祭、土建祭、福田公民館七夕コンサート、くすのき祭、のだとくフェスタ、ふれあいハート祭、ふれあい広場販売
宿泊体験	1	神奈川県（横浜）
サンスマイル	1	野田市文化会館
愛のメリークリスマス会	1	野田特別支援学校
おひさまといっしょに	1	野田市関宿総合公園体育館

## 7 あすなる職業指導所

◎あすなる職業指導所管理運営費

○あすなる職業指導所管理運営費

### (1) 指定障害福祉サービス事業所（多機能型）【障がい者支援課】

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス事業所（多機能型（生活介護及び就労継続支援B型））で、18歳以上の利用者が自立した日常生活や社会生活を営むことができるよう食事の介護、創作的活動、生産活動の機会の提供や就労の機会を提供するとともに、その知識及び能力の向上に必要な訓練等の提供に努めました。

平成28年度の生活介護の利用者は25人（男9人、女16人）、就労継続支援B型の利用者は23人（男14人、女9人）でした。

平成21年4月から指定管理者制度を導入しており、授産収入（製パン、下請け、縫製織物）については、指定管理者が経理しています。

指定管理者 社会福祉法人は一とふる

指定期間 5年間（平成26年4月1日から平成31年3月31日まで）

施設利用契約者数は、平成29年3月31日現在48人（男23人・女25人、市内在住47人・市外在住1人）です。

### (2) 社会参加行事【障がい者支援課】

行事名	回数	場所
文化祭（展示）	1回	野田市中央公民館
展示即売会	8	のだとくフェスタ、千葉県立野田看護専門学校文化祭、元気UPフェスタ、西部地区社協バザー等
宿泊体験	4	静岡県（伊東温泉、江の島水族館）
食事会	2	キッコーマンもの知りしょうゆ館、茨城県立自然博物館
愛のメリークリスマス会	1	野田特別支援学校
おひさまといっしょに	1	野田市関宿総合公園体育館

## 8 こぶし園

◎こぶし園管理運営費

○こぶし園管理運営費

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス事業所（生活介護）で、18歳以上の知的障がい者が地域で暮らすことに必要な生活や作業などの支援を行いました。また、地域社会への参加等を通じて個々の可能性を見だし、豊かな人格の形成を図りました。

施設利用契約者数は、平成29年3月31日現在35人（男21人・女14人）です。

(1) 作業支援【こぶし園】

作業活動を提供することにより、働くことへの意欲を高め、作業習慣の確立と、より良い人間関係づくりを目指した支援を行いました。また、支援は限定的に考えず、利用者個々の状況に応じて本人と話し合うことにより、作業種の選択・変更等にも配慮しました。

ア 作業内容

全 体 作 業	屋外作業（農耕）・室内作業（リサイクル）
班 別 作 業	手芸・木工・陶芸（洋陶芸・手びねり・ハーブ作り）

(2) 生活支援【こぶし園】

ア 日中活動

利用者の個々の状況に配慮し、自己選択・自己決定・社会参加への取組を考慮した日課を行いました。

イ 機能訓練

肢体不自由を伴った利用者の機能回復及び筋力・運動能力の維持のため、機能訓練を行いました。また、機能訓練のスキルアップを図るため、研修を行いました。

(ア) 機能訓練研修

開 催 日	利 用 者	保 護 者	職 員
平成28年 7月19日	6人	6人	7人
平成28年12月20日	6	6	8
平成29年 2月 7日	5	5	7

ウ 社会参加

行事を通じて、地域の人々との交流を深め、社会参加の促進に努めました。

(ア) 社会参加行事

行 事 名	回数	場 所
チ ャ レ ン ジ	23回	社会見学、調理実習、制作活動等
食 事 会	2	イオンモール春日部店、アリオ柏等
展 示 即 売 会	3	ららぽーと柏の葉、イオンタウン七光台
おひさまといっしょに	1	関宿総合公園体育館
サ ン ス マ イ ル	1	野田市文化会館
地 域 交 流 会	1	野田市立こぶし園
宿 泊 体 験	1	とりつくあーとびあ日光、東武ワールドスクウェア
創 立 30 周 年 記 念 式 典	1	野田市立こぶし園
こ ぶ し 園 祭	1	野田市立こぶし園
社会見学（日帰り旅行）	1	おもちゃのまちバンダイミュージアム、とちぎわんぱく公園

(イ) 実習生やボランティアの受入れを実施したことにより、障がい者に対する理解の促進とともに、地域社会との連携強化を図りました。

エ 職場実習

作業を体験することで、利用者の可能性を伸ばし、持てる力を発揮できるよう努めました。

(ア) 職場実習状況

実 習 先	開催日数（延べ時間）	参加延べ人数	作 業 内 容
特別養護老人ホーム福寿園	20日（180時間）	60人	清拭たたみ

オ 利用者の健康管理

嘱託医による診察（毎月第3金曜日）、体重・血圧測定、胸部エックス線撮影、内科・耳鼻科・眼科検診、歯科指導、腸内細菌検査、破傷風予防接種等の実施により、利用者の健康状態を把握・管理し、生命の安全を守ることに努めました。

(3) その他【こぶし園】

ア バス運行状況

送迎バス名	利用者乗車人数	
	こぶし園	あおい空
こぶし園送迎バス	28人(2人)	—
関連施設送迎バス	7 (2)	3人

※ (2人)は、登園と降園で違うバスを利用。この外自主登園4人

イ 記念誌の発行

創立30周年を迎え、これまでの歩みや事業内容等をまとめた記念誌を発行し、運営に対する理解を深めていただきました。

発行日 11月5日

部数 150部

## 9 あおい空

◎あおい空管理運営費

○あおい空管理運営費

(1) 指定障害福祉サービス事業所（生活介護）【障がい者支援課】

障害者の日常生活及び社会生活を総合的に支援するための法律に基づく指定障害福祉サービス事業所（生活介護）で、原則として18歳以上の常時介護を要する重度障がい者の健康の保持と社会生活の向上を図るため、心身機能の改善に必要な指導及び訓練、入浴、排泄、食事等の介護を提供しました。利用者に対する療法としては、嘱託医による診察を月1回(第3火曜日)、理学療法士等による機能訓練を年24回実施しました。また、体重及び血圧測定、胸部エックス線撮影、内科、耳鼻科及び眼科検診、歯科衛生指導並びに腸内細菌検査の実施により、利用者の健康状態を管理し、生命及び身体の安全確保に努めました。

さらに、見守り等の支援が必要な障がい児（小学生以上）又は障がい者に対して、平成27年2月から障がい者等一時支援事業を開始し、平成27年4月からレスパイトケアを目的に短期入所事業を開始しました。

また、保護者の希望に応じ、平成28年10月分以降の利用料の納付方法について、新たに口座振替を開始しました。

平成22年4月から指定管理者制度を導入しています。

指定管理者 社会福祉法人野田みどり会

指定期間 5年間（平成27年4月1日から平成32年3月31日まで）

施設利用契約者数は、平成29年3月31日現在12人(男5人・女7人、市内在住11人・市外在住1人)です。

(2) 社会参加行事【障がい者支援課】

行事名	回数	場所
おひさまといっしょに	1回	野田市関宿総合公園体育館
サンスマイル	1	野田市文化会館
文化祭（展示）	1	野田市中央公民館
外出行事（所外活動）	4	セブンパークアリオ柏、すみだ水族館、イクスピアリ、春日部イオン
食事会	1	クリアビューホテル

## (3) 障がい者等一時支援事業及び短期入所事業【障がい者支援課】

区 分	実利用人数	利用回数
障がい者等一時支援事業	11人	423回
短期入所事業	11	169

## 10 国民年金事務

国民年金に係る法定受託事務として、第1号被保険者等の資格取得届の受理、保険料免除申請書の受理、裁定請求書の受理など従来から市民に密着している事務を行うとともに、協力・連携事務として、年金相談事業や年金制度周知のための広報活動を実施し、市民の年金受給権確保に努めました。

## ◎事務費

## ○事務費

## (1) 加入者の状況【国保年金課】

平成28年度中の加入結果は下表のとおりで、このうち手帳送達による職権適用者は、2,370人でした。

区 分	学 生	適用漏れ者	20歳到達者	厚年から移行	そ の 他	合 計
平成28年度	438人	1,433人	864人	2,363人	734人	5,832人
平成27年度	419	1,524	874	2,474	854	6,145

## (2) 広報啓発活動【国保年金課】

## ア 広報紙の発行

広報紙として「国民年金だより」を年3回（6月、10月、2月）作成し、自治会内で班回覧を行いました。

## イ 年金相談会の開催

野田社会保険労務士会の協力を得て、下表のとおり年金相談会を開催しました。

開 催 日	会 場	相 談 者 数
6月16日	南コミュニティ会館	7人
10月15日	野田市産業祭内	24
10月20日	北コミュニティ会館	8
2月16日	関宿コミュニティ会館	7
合 計		46

## (3) 被保険者の動き【国保年金課】

## ア 種類別被保険者数

区 分	第1号被保険者			任意加入被保険者			第3号被保険者			合計
	男	女	計	男	女	計	男	女	計	
28年度	10,829人	8,711人	19,540人	96人	207人	303人	70人	10,329人	10,399人	30,242人
27年度	11,488	9,519	21,007	107	229	336	66	10,707	10,773	32,116

## イ 国民年金保険料免除者数

区 分	法定免除	申 請 免 除						合 計	免除率
		全額免除	3/4免除	半額免除	1/4免除	納付猶予	学生特例		
28年度	1,337人	2,025人	231人	134人	85人	697人	2,158人	6,667人	34.1%
27年度	1,299	2,201	269	172	91	550	2,083	6,665	31.7

ウ 付加年金加入被保険者数

区 分	強 制	任 意	合 計
28 年度	13 人	926 人	939 人
27 年度	15	1,026	1,041

(4) 拠出年金受給権者数【国保年金課】

区 分	老齡基礎	障害基礎	遺族基礎	老 齡	通算老齡	障 害	寡 婦	合 計
28 年度	40,507 人	956 人	229 人	651 人	435 人	50 人	29 人	42,857 人
27 年度	39,131	916	257	762	498	58	28	41,650

(5) 福祉年金受給権者数【国保年金課】

区 分	老齡福祉	障害（福祉）	合 計
28 年度	0 人	1,050 人	1,050 人
27 年度	0	1,022	1,022

## 11 老人福祉総務

◎老人福祉対策諸費

○老人福祉対策諸費

(1) シルバー人材センター【高齢者支援課】

事 業	内 容
シルバー人材センターへの活動助成	会員数 771 人 受注件数 4,330 件 運営費補助金 8,810,000 円

◎施設援護対策費

○施設援護対策費

(1) 老人ホーム入所関係【高齢者支援課】

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

事 業	内 容
養 護 老 人 ホ ー ム	入所者数 31 人（楽寿園 31 人 その他 0 人）

◎在宅老人援護対策費

○在宅老人援護対策費

(1) 介護職員研修受講料等助成金交付事業【高齢者支援課】

助 成 対 象 者	24 名
助 成 金 額	1,073,000 円

(2) 市民後見人養成講座フォローアップ研修【高齢者支援課】

研 修 時 間	26 時間
修 了 者	13 名

(3) ねたきり・ひとり暮らし等高齢者対策【高齢者支援課】

事 業	内 容
ホ ー ム ヘ ル プ サ ー ビ ス	訪問人数 3 人 延べ訪問日数 32 日

ふとん乾燥サービス	利用者	7人	延べ実施回数	148回
老人貸与電話基本料金の助成	設置台数	27台	助成総額	339,597円
日常生活用具の給付	電磁調理器	2台		
福祉タクシー利用料金の助成	利用者	1,534人	延べ利用件数	31,816件 助成総額 20,631,400円
緊急通報システムの設置	設置台数	57台	延べ設置台数	344台
給食サービス	利用者	38人	実施回数	18回
救急医療情報キットの配布	配布数	102個	延配付数	2,451個
家庭介護教室	参加者	15人	開催数	1回
訪問理容サービス利用の助成	利用者	9人	延べ助成件数	19件 助成総額 28,500円
介護用品支給	支給者	399人	延べ支給月	3,037月 支給総額 12,774,173円
家族介護者交流事業	日帰り交流会		延べ参加者	21人 開催数 2回

(4) 在宅高齢者対策【介護保険課・保健センター】

事業	内容		備考	
高齢者住宅改造費助成事業	助成件数	193件	助成総額 19,436,800円	介護保険課
スマートダイエット教室	参加者	7人	実施数 1教室	保健センター

◎老人生きがい対策費

○老人生きがい対策費

(1) 高齢者福祉対策事業【高齢者支援課】

事業	内容	
いきいきクラブへの活動助成	単位クラブ数	95クラブ 補助金額 3,830,600円
ゲートボール場等整備用砂支給	支給件数	1件 支給総量 5.5m <sup>3</sup>
敬老祝品 (77歳・95歳)	市内共通商品券	1,649人
敬老祝金 (88歳)	10,000円	543人
(99歳)	30,000	36
(100歳以上)	50,000	61

◎介護保険事業費

○介護予防支援事業費

(1) 介護予防支援(要支援1・2)の方のケアプラン作成【介護保険課】

要支援1・2の方のケアプラン作成を行いました。野田地区地域包括支援センター担当エリアとして延べ3,524件のプランを作成し、うち3,057件を委託しました。

また、平成28年3月から介護予防・日常生活支援総合事業を開始し、認定更新を迎えた要支援認定者が順次、総合事業サービスの利用に移行しました。

(上段 作成件数・下段 委託件数)

4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月	合計
306件 (20件)	302件 (36件)	298件 (53件)	309件 (63件)	298件 (73件)	302件 (90件)	290件 (98件)	292件 (119件)	286件 (128件)	292件 (138件)	270件 (149件)	279件 (158件)	3,524件 (1,125件)
266 (15)	264 (29)	257 (40)	270 (51)	261 (59)	264 (76)	255 (82)	256 (101)	251 (109)	252 (115)	230 (124)	231 (125)	3,057 (926)

※ ( )は、ケアプラン作成数のうち、介護予防・日常生活支援総合事業の利用者数



○訪問介護事業費

- (1) 指定居宅サービス事業者の指定を受け、常勤ヘルパー及び登録ヘルパーにより延べ11人に対し、延べ759回のサービスを行いました。【高齢者支援課】

繰越明許費

◎施設援護対策費

○施設援護対策費

- (1) 平成27年度から繰り越した事業【高齢者支援課】

事業	支出額	区分	内容
老人福祉施設建設助成費	78,746,000円	負担金、補助及び交付金	特別養護老人ホーム船形サルビア荘（船形297-2）

- (2) 平成29年度へ繰り越した事業【高齢者支援課】

事業	繰越額	区分	内容
老人福祉施設建設助成費	61,839,000円	負担金、補助及び交付金	特別養護老人ホーム（仮称）ふれあいの里（野田市愛宕駅第一土地区画整理事業地内）
地域密着型サービス等拠点整備補助	65,130,000円	負担金、補助及び交付金	①麗翠堂グループホーム（瀬戸965-4）32,000,000円 ※認知症高齢者グループホーム ②アロハナーシングケアハウス（木間ヶ瀬2764-63）32,000,000円 ※看護小規模多機能型居宅介護事業所 ③特別養護老人ホーム（仮称）ふれあいの里（野田市愛宕駅第一土地区画整理事業地内）1,130,000円 ※地域包括支援センター

## 12 デイサービスセンター

◎デイサービスセンター管理運営費

○岩木小学校老人デイサービスセンター管理運営費

- (1) 在宅で身体が弱く家の中で過ごすことが多い虚弱な高齢者に、食事、入浴、レクリエーションなどのサービスで日中を楽しく過ごしていただき、心身機能の維持向上等を図りました。【高齢者支援課】

・指定管理者 社会福祉法人野田みどり会

利用者（生きがい）	延べ 310日	延べ 50人	1日当たり 0.2人
	（内、入浴サービス利用者）	（延べ 0）	（1日当たり 0.0）

利用者（介護保険）	延べ 310日	延べ 5,427人	1日当たり 17.5人
	（内、入浴サービス利用者）	（延べ 2,361）	（1日当たり 7.6）

## 13 養護老人ホーム

◎楽寿園管理運営費

○楽寿園管理運営費

- (1) 養護老人ホーム【高齢者支援課】

ア 入所者が毎日楽しく過ごせるよう主に次のような行事を行いました。

・指定管理者 社会福祉法人野田みどり会

処 遇 内 容		開 催 日 数 (年)	参 加 人 数 (延べ)
ク ラ ブ 活 動	書 道	22 日	46 人
	詩 吟	23	49
	踊 り	10	71
	手 芸	11	160
新 茶 の 会		1	14
夕 涼 み 会		1	41
交 歓 会		1	40
健 康 相 談		48	516

イ 入所者の緊急事態に備え、夜間想定訓練を含め3回の避難訓練を実施しました。

ウ 入所者と親族との交流を図るため平成28年9月17日に交歓会を実施しました。

エ 入所者の清潔保持のため、野田理容組合奉仕会のご奉仕により、12回延べ158人の散髪をしました。

オ 平成29年3月31日現在の養護老人ホーム楽寿園の入所受諾人員は34人（うち男10人、女24人）です。

カ 平成28年度中の入所者は養護6人、特養3人。退所者は養護4人、特養4人でした。

(ア) 依頼実施機関(福祉事務所)別入所者数

(平成29年3月31日現在)

実 施 機 関	男	女	合 計
野 田 市	9 人	22 人	31 人
佐 倉 市	1	1	2
東 京 都	0	1	1
合 計	10	24	34

(イ) 年齢階層別入所者数

(平成29年3月31日現在)

年 齢 別	男	女	合 計
65 歳未満	1 人	1 人	2 人
65 ～ 69	0	2	2
70 ～ 74	3	1	4
75 ～ 79	3	9	12
80 ～ 84	3	5	8
85 ～ 89	0	5	5
90 歳以上	0	1	1
合 計	10	24	34

(2) 特別養護老人ホーム【高齢者支援課】

(ア) 年齢階層別入所者数

(平成29年3月31日現在)

年 齢 別	男	女	合 計
65 歳未満	0 人	0 人	0 人
65 ～ 69	2	0	2
70 ～ 74	0	0	0
75 ～ 79	1	1	2
80 ～ 84	1	1	2
85 ～ 89	0	3	3

90歳以上	0	5	5
合 計	4	10	14

## 14 老人福祉センター

◎老人福祉センター管理運営費

○老人福祉センター管理運営費

### (1) 老人福祉センター【高齢者支援課】

利用料金	利用者数
有 料	35人
無 料	8,325
合 計	8,360
利用内容	利用者数
舞 踊	195人
カ ラ オ ケ	3,408
囲 碁 ・ 将 棋	1,453
そ の 他	3,304
合 計	8,360

## 15 地域福祉センター

◎地域福祉センター管理運営費

○地域福祉センター管理運営費

### (1) 中根地域福祉センター【高齢者支援課】

ア 利用状況

開館日数	利用者総数	うち有料利用者数
344日	19,755人	4,070人

イ 借地料 472,057円（中根地域福祉センター用地：481.69㎡）

### (2) 関宿福祉センターやすらぎの郷【高齢者支援課】

ア 利用状況

開館日数	利用者総数	うち有料利用者数
344日	21,322人	17,310人

## 16 児童福祉総務

◎児童福祉振興費

○児童福祉振興費

### (1) ことば相談室運営費【保育課】

ア ことば相談室

市内在住で、言語発達遅滞、吃音等が見られる就学前の児童に対して個別指導を行うとともに保護者からの相談にも応じ、子育て支援の充実を図りました。

区 分	内 容		
野 田 こ と ば 相 談 室	延べ利用人数 963 人	(内訳)	1 歳児 0 人
			2 歳児 46
			3 歳児 213
			4 歳児 309
			5 歳児 395
	延べ利用件数（指導回数・電話相談等） 1,042 件		
関 宿 こ と ば 相 談 室	延べ利用人数 671 人	(内訳)	1 歳児 0 人
			2 歳児 38
			3 歳児 140
			4 歳児 213
			5 歳児 280
	延べ利用件数（指導回数・電話相談等） 691 件		

○ファミリー・サポート・センター事業費

仕事と育児を両立するための環境づくりを支援し、次代を担う児童の健全な育成を図ることを目的とした野田市ファミリー・サポート・センター事業を社会福祉法人野田市社会福祉協議会へ委託し、子育てに関する援助活動の促進を図りました。

(1) 会員数【児童家庭課】

(平成 29 年 3 月 31 日現在)

区 分	会 員 数
利 用 会 員	451 人
提 供 会 員	123
両 方 会 員	42
合 計	616

(2) 延べ利用件数【児童家庭課】

内 容	件 数
保育所・幼稚園の登園前の援助及び送り	394 件
保育所・幼稚園の迎え及び帰宅後の援助	605
学童の放課後の援助	165
学童保育所の迎え	5
学童保育所の迎え及び帰宅後の援助	825
学童保育所等への送りと援助	287
子どもの病気時の援助	5
保育所・学校等休みの時の援助	64
保育所等施設入所前の援助	87
保護者等の短時間・臨時的就労の場合の援助	89
保護者等の求職活動中の援助	25
保護者等の冠婚葬祭による外出、他の子供の学校行事の援助	4
保護者等の買い物等外出の場合の援助	160
保護者等の病気、その他急用の場合の援助	732
学校への送り	70
学校の迎え	100
家族等の通院等の場合の援助	20
習い事の送迎（主に学童・保育所から習い事への送り迎え）	946
合 計	4,583

(3) ファミリー・サポート・センター利用料助成事業【児童家庭課】

野田市ファミリー・サポート・センターの利用者のうち、助成対象となる生活保護世帯、市民税非課税世帯及びひとり親家庭世帯に利用料の一部を助成し、利用者の経済的負担の軽減を図りました。

区 分	利 用 状 況
利用料助成登録者数	25 人
延 べ 利 用 者 数	61 人
延 べ 利 用 時 間	1,519 時間

○地域子育て拠点整備事業費

(1) 地域子育て拠点整備事業【児童家庭課】

育児中の保護者が仲間と交流できる子育てサロンを開設し、少しの間育児から離れてリフレッシュできる一時預かりや育児相談を実施し、地域ぐるみで子育て支援を行っているNPO法人に対し、その運営に必要な経費の一部を補助し、子育て支援の充実を図りました。

NPO法人名	施 設 名	年間延べ利用人数	補助金額
ゆう&みい	子育てサロン	8,570 人	3,036,000 円
子育てネットワークゆっくっく	ゆっくっくひろば	13,421	2,606,000
野田市どろんこの会	スマイル	3,552	2,120,000

◎要保護児童対策地域協議会事業費

○要保護児童対策地域協議会事業費

協議会を3層構造の運営システムにすることにより、それぞれの機関と連携を取りながら、児童虐待の防止及び要保護児童の適切な保護が図られました。

特に実務者（進行管理）会議では、すべての虐待相談ケースを毎月報告検討し、関係機関と対応の確認を行いました。なお、困難事例については、実務者会議、代表者会議において対応方針の協議をしています。【児童家庭課】

区 分	内 容	
協 議 会 開 催 状 況	要保護児童対策地域協議会代表者会議	2 回
	要保護児童対策地域協議会実務者会議	2
	要保護児童対策地域協議会実務者（進行管理）会議	12
	個別支援会議	9
	関係機関構成員による研修会	1
虐 待 対 象 児 童 数	207 人（新規 92 人、継続 115 人）	
虐 待 相 談 ・ 対 応 件 数	3,941 件（新規 1,200 件、継続 2,741 件）	

◎病児・病後児保育事業費

○病児・病後児保育事業費

(1) 病児・病後児保育事業費【保育課】

病気または病気回復期の児童が集団保育を受けられない状態にあり、さらに保護者の勤務の都合などにより家庭における保育ができない場合に、一時的に児童を預かる事業を実施し、子育てと就労等の両立を支援しました。

(事業概要)

実施場所	小張総合病院内「ひばりルーム」
保育時間	午前8時から午後6時まで
休 日	日曜日・祝日・年末年始
利用定員	1日につき原則4人まで

利用条件	次のすべての条件を満たす児童が対象 <ul style="list-style-type: none"> <li>・病気または病気回復期にあり、医療機関による入院治療の必要はないが、集団保育や家庭保育が困難</li> <li>・保護者の方の勤務の都合、傷病、冠婚葬祭などの理由により家庭での保育が困難</li> <li>・生後 57 日目から小学校 6 年生まで</li> <li>・市内にお住まいか、市内の保育所・認可外保育施設・幼稚園・小学校等に通所・通学している</li> </ul>
料 金	<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用料（1 人 1 日当たり） 5 時間以内 1,000 円 以降 1 時間当たり 200 円 （生活保護受給世帯、市町村民税非課税世帯は申請により利用料が免除されます）</li> <li>・食事代 一律 300 円</li> <li>・このほかに、受診した場合は診療代と医師連絡表発行料の実費が必要になります。</li> </ul>
利用期間	1 回の申請において、連続して原則 7 日以内

(利用実績) 年間延利用児童数 283 人

(利用実績内訳)

児 童 所 属 別		症 例 分 類			
保 育 所	246 人	感 冒	100 人	膿 痂 疹	5 人
認 可 外 保 育 施 設	6	咽 頭 炎	50	手 足 口 病	2
幼 稚 園	3	扁 桃 腺 炎	12	発 熱	12
小 学 校	7	気 管 支 炎	29	下 痢	4
事 業 所	0	喘 息	2	嘔 吐	4
そ の 他	21	消 化 不 良 症	13	発 疹	1
		感 冒 性 嘔 吐 症	14	そ の 他	28
		中 耳 炎	7		
利 用 時 間 数					
5 時間以下	25 人				
5 時間超～ 6 時間以下	13				
6 時間超～ 7 時間以下	43				
7 時間超～ 8 時間以下	41				
8 時間超～ 9 時間以下	53				
9 時間超～10 時間以下	108				

◎育児支援家庭訪問事業費

○育児支援家庭訪問事業費

社会福祉法人野田市社会福祉協議会への委託により、出産前から支援が必要な妊婦及び育児不安や育児ストレスを感じている親などに、育児、家事支援及び相談等の専門員を派遣し、子育てへの負担感の軽減を図りました。

(1) 利用人数等【児童家庭課】

利用人数	利用日数	利用時間数
31 人	428 日	906.5 時間

(2) 支援内容別利用時間【児童家庭課】

支 援 内 容		利用時間数
①育児に関する具体的な指導等		906.50 時間
内 訳	ア 産褥期の母子に対する育児指導及び家事等の援助	277.50
	イ 母親に対する身体的及び精神的不調状態に対する相談及び指導	247.75
	ウ ひきこもり等の家庭養育上の問題を抱える家庭又は児童が児童養護施設等を退所若しくは小規模住居型児童養育事業を行う者若しくは里親への委託の終了後の家庭復帰等のため、児童の自立に向けた支援が必要な家庭に対する養育相談及び援助	91.00

内 訳	エ 未熟児、多胎児等に対する育児及び栄養の指導	184.50
	オ 特定妊婦がいる家庭に対する安定した出産及び育児を迎えるための相談及び支援	105.75
②発達指導		0.00

◎つどいの広場事業費

○つどいの広場事業費

閑宿地域における子育て支援機能の充実を図るため、いちいのホール内のつどいの広場において、主に乳幼児（0～3歳）とその保護者が気軽に集い、交流を図るとともに、育児相談等を行う場を設け、子育て中の保護者の子育てへの負担感の緩和に努めました。事業の運営については、NPO法人子育てネットワークゆっくづくに委託しました。

(1) 利用人数等【児童家庭課】

区 分	大 人	乳幼児	合 計
延べ利用人数	1,855 人	2,568 人	4,423 人

◎訪問型一時保育事業費

○訪問型一時保育事業費

家庭で児童の保育をしている保護者等が、傷病、介護等の事由で一時的に児童の保育ができない場合に、児童の自宅に保育士等を派遣して児童の保育を行うことにより、保護者の子育てを支援し、児童の健全な育成を図りました。

なお、保育士等の派遣業務はNPO法人子育てネットワークゆっくづくに委託しました。

(1) 利用児童数等【児童家庭課】

延べ利用児童数	延べ利用時間数
17 人	76 時間

◎児童家庭相談事業費

○児童家庭相談事業費

(1) 家庭児童相談員 2 人（週 4 日・1 日 7 時間勤務）【児童家庭課】

ア 家庭児童相談室

家庭における児童の健全な育成に寄与するため、児童に関する様々な問題事例について取り扱い、当事者への助言や専門機関への斡旋など、解決に向けた支援を行いました。

また、児童虐待に関連した事例については、要保護児童対策地域協議会を構成する児童相談所や各関係機関との情報を共有化するなど緊密に連携し、早期の対応に努めました。

体 制	内 容
家庭児童相談室 6 人 (係長 1 人、社会福祉主事 3 人、家庭児童相談員 2 人)	相談対応件数 17,468 件
	内訳 性格・行動に関する事例 186 件
	言語・発達障がい等に関する事例 196
	障がい児に関する事例 33
	不登校などに関する事例 201
	進路・適性に関する事例 8
	非行に関する事例 32
	虐待に関する事例 3,941
	虐待以外の家族問題に関する事例 11,249
	育児・しつけなど子育てに関する事例 1,265
その他の事例 357	

(2) 児童虐待相談電話「子どもSOS」による虐待相談・通報の受付【児童家庭課】

児童家庭課内にある家庭児童相談室に「子どもSOS」電話を設置し、虐待を受けている子ども自身からの相談や、

虐待の疑いのある親子を発見した方からの通報、あるいは虐待をしてしまっているのではないかと悩んでいる保護者からの相談等を受け付けました。

区 分	内 容
受 付 時 間	月曜日～金曜日 午前9時～午後5時 土・日・祝日及び夜間は留守番電話とFAXにて対応
電 話 受 付 件 数	33件（うち虐待16件）（平成28年4月～平成29年3月）

(3) 児童虐待防止推進月間事業【児童家庭課】

ア 「わたしの願う家族・家庭」ポスター展を開催

児童虐待防止啓発の一環として「わたしの願う家族・家庭」をテーマに、市内の小中学生よりポスターを募集し、市役所ふれあいギャラリー及びいちいのホールに展示しました。

また、優秀賞には、賞状・賞状筒と賞品を、それ以外の作品には参加賞を贈呈しました。

区 分	内 容
応 募 作 品	小学生 526点 中学生 106点 (合計) 632点
展 示 作 品	小学生 44点 中学生 4点 (合計) 48点
優 秀 賞	小学生 5点 (合計) 5点
展 示 期 間	平成28年11月05日～14日 いちいのホール 平成28年11月16日～22日 ふれあいギャラリー

イ 児童虐待防止のための啓発活動

市の公用車や趣旨に賛同いただいた市内事業所の車両に、児童虐待防止に関するステッカー等を装着し、地域全体の児童虐待防止意識の向上を図りました。

区 分	装着数	啓 発 方 法
マグネットシート	116枚	公用車及び市内タクシー事業所の車両に装着
バスマスク	10	まめバスに装着
懸垂幕	2	市役所及びいちいのホールの懸垂塔に掲出
啓 発 幕	10	市内公設保育所（10か所）敷地内に掲出

(4) 児童虐待防止啓発カードの作成【児童家庭課】

児童虐待防止の啓発を行うため、児童虐待相談電話「子どもSOS」の連絡先を掲載した啓発カードを作成して、関係機関に配布し、啓発を行いました。

作成部数 25,000枚

配布先 市内小中学校児童生徒、民生委員児童委員、保育所、幼稚園など

◎子ども医療費助成事業費

○子ども医療費助成事業費

中学校3年生までの通院、調剤及び入院にかかる保険診療の一部を助成し、子どもの保健対策の充実と保護者の経済的負担の軽減を図りました。

(1) 助成件数等【児童家庭課】

区 分	件 数	支 払 額	支 払 額 合 計
現 物 給 付	272,796件	486,973,184円	517,847,584円
償 還 分	2,767件	30,874,400円	



◎未熟児養育医療給付事業費

○未熟児養育医療給付事業費

からだの発育が未熟なまま生まれた新生児の入院にかかる医療費が高額になることから、保護者の経済的負担を軽減するため医療費の助成を実施しました。

(1) 助成件数等【児童家庭課】

認定者数	支給件数	支給額
18人	42件	4,107,671円

◎子育て短期支援事業費

○子育て短期支援事業費

(1) 子育て短期支援（ショートステイ）事業【児童家庭課】

要保護児童対策等の一環として、入院などにより一時的に在宅による子どもの養育ができない場合や、育児疲れなどにより子育てに不安を抱いた保護者への支援のため、児童養護施設で一時的に子どもを預かることでセーフティネットの役割を果たしました。

利用人数	延べ利用日数	内訳
5人	50日	母の育児疲れ 4人、その他 1人

## 17 児童措置

◎児童援護対策費

○児童援護対策費

(1) 管外保育所運営委託料【保育課】

管外保育所の利用を希望する方の保育需要に対応するため、市外の30保育所へ委託しました。

(2) 市内私立保育所運営委託料【保育課】

市内の私立保育所の利用を希望する方の保育需要に対応するため、9保育所（聖華保育園、コピープリスクールのだ保育園、コピープリスクールせきやど保育園、アスク七光台保育園、アスク川間保育園、コピープリスクールさくらのさと保育園、すくすく保育園（平成28年4月1日に梅郷保育園から名称変更し、分園を開設）、アスク古布内保育園、コピープリスクールあたご保育園）へ委託しました。

(3) 地域型保育運営委託料【保育課】

待機児童・保留者の解消に向け、子ども・子育て支援新制度における地域型保育事業の一類型である事業所内保育事業として、平成27年10月1日に小張総合病院が運営する既存の託児施設をひばり保育園として市が認可したものです。定員60人のうち、市民の利用が可能な地域枠として0歳から2歳までの15人分及び従業員枠45人分のうち野田市の市民分について、ひばり保育園に委託しました。

(4) 助産施設入所費負担金【児童家庭課】

出産にあたり、病院等に入院する必要があるにもかかわらず、経済的な理由で入院できない妊産婦を助産施設（県認可病院）に入所措置し、母子の健康と出産直後の生活を支援しました。

助産施設入所 1件

◎児童手当支給費

○児童手当支給費

児童手当法に基づき、中学校修了までの児童を養育している父母等に対し、家庭等における生活の安定に寄与すると

ともに、次代の社会を担う児童の健やかな成長を資することを目的に、児童手当を支給しました。【児童家庭課】

区 分		支給月額	延べ受給児童数	支給総額
0～3 歳未満	被用者	15,000 円	25,718 人	385,770,000 円
	非被用者		7,876	118,140,000
3 歳以上小学校修了前	第 1 子、第 2 子	10,000	118,013	1,180,130,000
	第 3 子以降	15,000	18,915	283,725,000
中学生		10,000	45,072	450,720,000
所得制限該当世帯（特例給付）		5,000	9,900	49,500,000
合 計			225,494	2,467,985,000

## 18 母子福祉

◎ひとり親家庭等援護対策費

○ひとり親家庭等援護対策費

(1) 児童扶養手当【児童家庭課】

離婚などにより、父親又は母親と生計を同じくしていない 18 歳に達する日以後の最初の 3 月 31 日までの児童を養育しているひとり親家庭等の生活の安定と自立を助け、児童の福祉の増進を図りました。

ア 事由別内訳

受給事由	離 別	死 別	未 婚	障がい	遺棄その他	合 計
受給者数 (全部支給・一部支給停止者のみ)	1,071 人	25 人	128 人	3 人	63 人	1,290 人

イ 支給区分内訳

区 分	受給者数	全部支給停止者
全 部 支 給 者	623 人	248 人
一部支給停止者	667	
合 計	1,290	

ウ 児童数別内訳

受給対象児童数別内訳					
1 人	2 人	3 人	4 人	5 人	合 計
694 人	437 人	123 人	27 人	9 人	1,290 人

エ 支給月額

区 分	第 1 子	第 2 子	第 3 子以降
全 部 支 給 者	(基本額) 平成 28 年 3 月まで 42,000 円 4 月から 42,330 円	(加算額) 平成 28 年 7 月まで 5,000 円 8 月から 10,000 円	(加算額) 平成 28 年 7 月まで 3,000 円 8 月から 6,000 円
一部支給停止者	所得額に応じて平成 28 年 3 月 まで 9,910 円から 41,990 円ま で 10 円きざみの額、4 月以降 9,990 円から 42,320 円まで	平成 28 年 7 月まで 5,000 円 8 月以降は、所得額に応じて 5,000 円から 9,990 円まで 10 円 きざみの額	平成 28 年 7 月まで 3,000 円 8 月以降は、所得額に応じて 3,000 円から 5,990 円まで 10 円 きざみの額

オ 延べ受給者数、支給総額

区 分	延べ受給者数	支給総額
全 部 支 給 者	7,664 人	323,395,240 円

一部支給停止者	8,203	237,318,280
第2子加算	6,824	43,220,280
第3子以降加算	2,094	8,296,250
合計		612,230,050

※ 児童扶養手当法第13条の3に基づく就業意欲がみられないことによる一部支給停止者 0人

(2) 養育者支援手当【児童家庭課】

父母等の離婚等により、父親及び母親と生計を同じくしていない児童を養育し、公的年金を受給している養育者(祖父母等)に対して支給し、養育者の経済的、精神的負担の軽減と児童の福祉の増進を図りました。

ア 事由別内訳

受給事由	離別	死別	未婚	障がい	遺棄その他	合計
受給者数 (全部支給・一部支給停止者のみ)	6人	0人	0人	0人	0人	6人

イ 支給区分内訳

区分	受給者数	全部支給停止者
全部支給者	4人	0人
一部支給停止者	2	
合計	6	

ウ 児童数別内訳

受給対象児童数別内訳					
1人	2人	3人	4人	5人	合計
5人	1人	0人	0人	0人	6人

エ 支給月額

区分	第1子	第2子	第3子以降
全部支給者	(基本額) 平成28年3月まで42,000円 4月から42,330円	(加算額) 平成28年7月まで5,000円 8月から10,000円	(加算額) 平成28年7月まで3,000円 8月から6,000円
一部支給停止者	所得額に応じて平成28年3月まで9,910円から41,990円まで10円きざみの額、4月以降9,990円から42,320円まで	平成28年7月まで5,000円 8月以降は、所得額に応じて5,000円から9,990円まで10円きざみの額	平成28年7月まで3,000円 8月以降は、所得額に応じて3,000円から5,990円まで10円きざみの額

オ 延べ受給者数、支給総額

区分	延べ受給者数	支給総額
全部支給者	44人	1,855,920円
一部支給停止者	28	947,520
第2子加算	20	114,400
第3子以降加算	0	0
合計		2,917,840

(3) ひとり親家庭等医療費助成金【児童家庭課】

ひとり親家庭等の経済的負担及び精神的不安感の軽減を図るため、ひとり親家庭の母、父又は養育者及びその子が医療等の給付を受けた場合に保険診療にかかる自己負担分の一部を助成しました。

区 分	内 容
延 べ 受 給 者 数	1,821 人
延 べ 助 成 件 数	8,923 件
支 給 総 額	23,883,880 円

(4) ひとり親家庭等に対する講演会【児童家庭課】

現代の子育て世代は、母親、父親それぞれが仕事を持つことも多く、子育ての仕方も多様化して様々な悩みを抱えている中、市民の子育ての不安や精神的な負担を軽減し、支援することを目的に講演会を開催しました。

区 分	内 容
日 時	平成 29 年 3 月 11 日（土） 午後 1 時 30 分～3 時 30 分
会 場	市役所 8 階大会議室
参 加 者	77 人
講 師	聖徳大学 児童学部児童学科 准教授 神谷 明宏 氏
内 容	「心のケア」講演会
テ ー マ	今だから子どもたちに体験させたいこと ～子ども一人ひとりが力を発揮し現代をより良く生きるために～

◎ひとり親家庭等支援総合対策費

○母子・父子自立支援員費

(1) 母子・父子自立支援員【児童家庭課】

母子家庭、父子家庭及び寡婦を対象に、離死別直後の精神的安定を図り、その自立に必要な情報提供や指導相談等の支援を行うとともに、職業能力の向上及び求職活動に関する支援を行い、自立の促進を図りました。

区 分	内 容
母子・父子自立支援員の人数	3 人
相 談 件 数	789 件（うち就業相談 364 件）
訪 問 件 数	271 件

(2) 母子・父子自立支援プログラム策定事業【児童家庭課】

児童扶養手当受給者等の自立を促進するため、個々の母子家庭及び父子家庭の実情やニーズに応じた自立支援プログラムを策定し、ハローワーク等と緊密に連携しつつ、就業に結び付くまで継続的に就労相談を実施しました。

区 分	内 容
プログラム策定者	25 人
就 業 実 績	正規雇用 8 人、非正規雇用 8 人

(3) ひとり親家庭向け求人情報の開拓と情報提供【児童家庭課】

ひとり親家庭の求職活動を支援するため、昨年度までは、市の無料職業紹介所の職業相談員と母子・父子自立支援員が連携して市内事業所を定期的に訪問し、ひとり親家庭の雇用を促進するための啓発及び求人開拓を行うことで、個々の適性やニーズに配慮した情報を提供し、就職後も定期的なフォローを行ってきました。

しかし、一般の求人開拓に係る事業所にも同行していたことから、より効果的な訪問を行うため、7 月からは母子・父子自立支援員が単独で、ひとり親家庭から就職希望の多い業種の事業所を選定・訪問し、ひとり親家庭の雇用への理解及び事業主に対する野田市雇用促進奨励金制度の啓発活動を開始し、就労相談の際に訪問した働きやすい環境の事業所などの情報提供を行いました。（原則毎月 1 回訪問）

区 分	内 容
訪問事業所数	64社(6月まで) 15社(7月以降 ひとり親家庭希望対象事業所のみ)
求 人 者 数	803人(ひとり親家庭の親も対象)
紹 介 者 数	3人(母子家庭3人、父子家庭0人)
就 業 実 績	2人(母子家庭2人・父子家庭0人、正規雇用1人・非正規雇用1人)

○ひとり親家庭等支援費

(1) ひとり親家庭等日常生活支援事業【児童家庭課】

母子家庭及び父子家庭、寡婦の方が技能習得のための通学や病気などで一時的に支援を必要とする場合などに、野田市母子寡婦福祉会への委託により家庭生活支援員を派遣し、子どもの保育をはじめとした日常生活の支援を行い生活の安定を図りました。

区 分	内 容
子 育 て 支 援 (※うち保育所入所申請後の待機時の求職活動中の支援)	10人(延べ 72日、393時間) (1人(延べ 11日、63時間))
生 活 援 助 (※うち保育所入所申請後の待機時の求職活動中の援助)	1人(延べ 2日、6時間) (0人)

(2) ひとり親家庭情報交換事業【児童家庭課】

野田市母子寡婦福祉会に事業を委託し、ひとり親家庭の方が交流やイベントを通じてお互いに悩みを打ち明けたり、相談し合う場を設け、精神的負担の軽減に努めました。

区 分	内 容	開催日	会 場	参加人数	
				大人	子ども
第1回	親子ふれあい料理教室(そば打ち体験)	5月29日(日)	福田公民館	9人	7人
第2回	親子ふれあい料理教室(そば打ち体験)	6月26日(日)	東部公民館	7	4
第3回	親子ふれあい教室(パン作り)	7月10日(日)	関宿中央公民館	13	12
第4回	親子ふれあい教室(パン作り)	8月21日(日)	南部梅郷公民館	13	12
第5回	親子ふれあい教室(お茶体験)	10月2日(日)	南部梅郷公民館	10	6
第6回	親子ふれあい教室(お茶体験)	10月30日(日)	中央公民館	8	6
第7回	親子ふれあい料理教室(太巻き寿司作り)	11月27日(日)	福田公民館	7	4
第8回	親子ふれあい料理教室(太巻き寿司作り)	12月4日(日)	北部公民館	9	6
第9回	親子ふれあい料理教室(太巻き寿司作り)	12月18日(日)	関宿中央公民館	7	7
合 計				83	64

(3) 母子家庭等就業自立支援事業【児童家庭課】

母子家庭の母、父子家庭の父及び寡婦の方を対象に、就業に結び付く技能の習得、資格を身に付けることを目的とした就業支援パソコン講習会を野田地域職業訓練センターに委託して年2回実施し、自立の促進を図りました。

コース区分	受講者数	資格取得者数
5月開講コース(夜間)	6人	ワード5人、エクセル3人
10月開講コース(夜間)	10	ワード9人、エクセル8人

(4) 母子家庭等自立支援教育訓練給付金【児童家庭課】

母子家庭の母及び父子家庭の父が就職や転職、雇用の安定に向けて職業技能を身につけるために受講した教育訓練講座を終了した場合に、母子家庭等自立支援教育訓練給付金(受講料の60%)を支給し、資格の取得を促進しました。

区 分	内 容
講 座 指 定 者 数	3人(介護実務者研修1人、介護職員初任者研修2人)
支 給 人 数	3人(介護実務者研修1人、介護職員初任者研修2人)

(5) 母子家庭等高等職業訓練促進給付金等【児童家庭課】

母子家庭の母及び父子家庭の父が、看護師や介護福祉士等の国家資格取得のため1年以上養成機関で修学する場合、一定期間「母子家庭等高等職業訓練促進給付金」を支給するとともに、「母子家庭等高等職業訓練修了支援給付金」(市町村民税非課税世帯50,000円、市町村民税課税世帯25,000円)を修了後に支給することで、生活の負担の軽減を図り資格取得を支援しました。

母子家庭等高等職業訓練促進給付金の支給期間と支給額

修学開始時期	支 給 月 額		支 給 期 間
	住民税課税世帯	住民税非課税世帯	
H25.4～H28.3	70,500円	100,000円	修業期間の全期間(上限24月)※
H28.4～	70,500円	100,000円	修業期間の全期間(上限36月)

※ 28年3月まで給付金を受給し、かつ28年4月1日時点で引き続き修業中の者は、支給期間の上限が36か月となった。

事 業	受給者数	資 格 名
母子家庭等高等職業訓練促進給付金	11人	看護師6人、准看護師4人、作業療法士1人
母子家庭等高等職業訓練修了支援給付金	5	看護師1人、准看護師4人

○ひとり親家庭等支援総合対策諸費

(1) 養育費等個別法律相談会【児童家庭課】

養育費の問題など離婚に関わる法律問題について、弁護士による個別法律相談会を行い養育費確保のための助言を行いました。

区 分	内 容	
日 時	平成29年2月26日(日) 午後1時30分～4時00分	
会 場	野田市役所1階市民相談室	
個別法律相談会	参加者	7人
	相談員	弁護士 2人

○ひとり親家庭等及びDV被害女性民間賃貸住宅入居時家賃等助成事業費

(1) 緊急に居住の場を確保する必要があるひとり親家庭等及びDV被害女性で、民間賃貸住宅へ入居しようとする低所得の方に対して、賃貸借契約時に要する家賃等の費用の一部を助成し、入居の円滑化を支援しました。

平成28年度の相談件数、申請件数及び助成金額は次のとおりです。【営繕課】

相談件数	申請件数	助成件数	助成金額
24件	17件(全て母子家庭)	17件(全て母子家庭)	1,446,420円

## 19 保育所

◎保育所管理運営費

○保育所管理運営費

(1) 子育て支援事業【保育課】

保育士が下記の子育て支援事業に取り組み、子育て支援としての相談、交流、支援のサポートを行いました。(イカ

らオまでの事業は指定管理者制度導入保育所でも実施)

ア 食と遊びの講習会

幼児の保護者を対象に幼児食・手作りおやつので作り方や幼児の栄養・育児等について、例年講習会を開催しており、参加者が食育と調理方法などの知識を習得することができました。更に参加者の育児相談を受けることで、育児の悩みなどの解消につながりました。

(会場：保健センター)

実施日		参加人数	同伴児数
第1回	平成28年7月4日	6人	8人
第2回	平成28年10月25日	9人	10人
合計		15人	18人

※ 全員をグループに分け、幼児の栄養について、幼児食の作り方の実習を行いました。

イ 一日体験保育

保育所に入所していない地域の児童と保護者を対象に、子育て相談や情報交換の場として、保育所の各行事に参加していただく、一日体験保育を実施しました。

区分	運動会	地域交流	消防車見学	人形劇鑑賞	お楽しみ会 クリスマス会等	合計
参加人数	142人	48人	7人	0人	8人	205人

ウ 育児テレホン相談

身近な相談相手として、各保育所で育児に関する相談を行いました。

相談内容	入所関係	子育て支援	食事	遊び	病児保育	合計
件数	66件	0件	3件	0件	0件	69件

エ 園庭開放

地域での子育て支援を推進するため、親子での保育体験や育児相談の場として園庭を地域に開放しました。

保育所名	回数	参加人数
清水保育所	8回	102人
花輪保育所	12	62
中根保育所	12	330
東部保育所	22	275
南部保育所	10	37
北部保育所	10	63
尾崎保育所	8	13
福田保育所	11	111
木間ヶ瀬保育所	9	12
乳児保育所	11	99
合計	113	1,104

オ 高齢者とのふれあい事業

地域の高齢者との保育行事や伝承遊び、園芸菜園の耕作等の交流活動を通じて、地域の中で子育て支援を行うとともに、高齢者の社会参加と生きがいを推進しました。

保 育 所 名	回 数	参 加 人 数
清 水 保 育 所	11 回	33 人
花 輪 保 育 所	2	38
中 根 保 育 所	2	39
東 部 保 育 所	2	10
南 部 保 育 所	4	62
北 部 保 育 所	4	101
尾 崎 保 育 所	4	13
福 田 保 育 所	3	69
木 間 ケ 瀬 保 育 所	8	70
乳 児 保 育 所	2	18
合 計	42	453

(2) 保育所別、年齢別年間延べ入所児童数【保育課】

保 育 所 名	0 歳児	1 歳児	2 歳児	3 歳児	4 歳児	5 歳児	合計
清 水 保 育 所	137 人	262 人	353 人	359 人	360 人	360 人	1,831 人
花 輪 保 育 所	79	200	198	269	377	384	1,507
中 根 保 育 所	93	385	431	467	649	492	2,517
東 部 保 育 所	66	188	216	262	321	289	1,342
南 部 保 育 所	72	152	357	370	420	416	1,787
北 部 保 育 所	72	144	253	266	396	396	1,527
尾 崎 保 育 所	73	254	317	289	372	359	1,664
福 田 保 育 所	54	185	271	238	396	348	1,492
木 間 ケ 瀬 保 育 所	56	144	215	246	288	300	1,249
乳 児 保 育 所	243	267	140	—	—	—	650
聖 華 保 育 園	96	143	192	180	180	204	995
コピープリスクールのだ保育園	30	119	128	132	216	240	865
コピープリスクールせきやど保育園	36	144	144	192	240	234	990
アスク七光台保育園	71	132	144	202	204	240	993
アスク川間保育園	71	180	179	192	192	170	984
コピープリスクールさくらのさと保育園	72	173	204	209	240	264	1,162
すくすく保育園	60	114	186	252	218	276	1,106
アスク古布内保育園	101	157	205	217	232	264	1,176
コピープリスクールあたご保育園	123	264	287	359	384	324	1,741
すくすく保育園分園	139	188	41	—	—	—	368
ひばり保育園	44	51	61	—	—	—	156
小 計	1,788	3,846	4,522	4,701	5,685	5,560	26,102
管 外 委 託	28	50	55	28	85	99	345
合 計	1,816	3,896	4,577	4,729	5,770	5,659	26,447

(3) 指定管理者制度の導入【保育課】

平成 18 年 4 月から指定管理者制度を導入したことにより、午後 7 時以降の延長保育事業等を実施し、サービスの向上が図られるとともに、民間活力を導入したことで多様な保育の提供が可能となりました。



〈指定管理制度導入保育所〉

指定管理導入年度	保 育 所 名
平成 18 年度	あたご保育所（平成 26 年 11 月から私立園に移行）、南部保育所
平成 19 年度	尾崎保育所
平成 20 年度	古布内保育所（平成 26 年 4 月から私立園に移行）
平成 22 年度	清水保育所
平成 24 年度	花輪保育所
平成 25 年度	北部保育所
平成 26 年度	木間ヶ瀬保育所
平成 28 年度	東部保育所（地域子育て支援センター含む）

〈午後 7 時以降の延長保育事業の利用児童数〉

保 育 所 名	時 間	年間延べ利用児童数（月極利用）	年間延べ利用児童数（日割利用）
南 部 保 育 所	午後 8 時まで	46 人	962 人
	午後 9 時まで	0	131
	午後 10 時まで	0	13
尾 崎 保 育 所	午後 8 時まで	0	314
清 水 保 育 所	午後 8 時まで	39	417
花 輪 保 育 所	午後 8 時まで	0	47
北 部 保 育 所	午後 8 時まで	12	320
木 間 ヶ 瀬 保 育 所	午後 8 時まで	5	314
東 部 保 育 所	午後 8 時まで	13	99

〈休日保育事業の利用児童数〉

保 育 所 名	延べ利用申込者数	実施日数	延べ利用日数
コビープリスクールあたご保育園	177 人	66 日	406 日
尾 崎 保 育 所	29 人	66 日	48 日

(4) 地域子育て支援センター事業の利用人数【保育課】

東部保育所敷地内の子育て支援センターにおいて、未就園の子どもと親同士が交流する「親子サークル」や保育所敷地内の施設の利点を生かし、保育所の子ども達と一緒に園庭で遊ぶ「園庭開放」などの様々なイベントを実施するとともに、子育てについての悩みや相談を受けたり、市内の保育サービスの情報提供をするなど、子育てへの負担感の緩和と安心して子育てができる環境づくりを推進しました。

区 分	相 談	自由開放	サークル	イベント参加
年間延べ利用人数	36 人	3,088 人	1,281 人	1,078 人

※ 平成 28 年度から指定管理者制度導入

(5) 保育所用地等借地料【保育課】

ア 4,672,458 円 （清水保育所用地他 : 4,869.85 m<sup>2</sup>）

◎保育所施設整備費

○保育所施設整備費

(1) 空調設備工事【保育課】

ア 南部保育所、清水保育所の保育室空調設備交換を実施しました。

工事費 3,780,000 円

(2) テラス他改修工事【保育課】

ア 中根保育所の南棟通路の柱及び手摺等の塗装改修を実施しました。

工事費 205,200 円

(3) 暖房設備改修工事【保育課】

ア 中根保育所の暖房設備交換を実施しました。

工事費 756,745 円

(4) 排水改修工事【保育課】

ア 中根保育所のトイレの排水の改修を実施しました。

工事費 972,000 円

(5) 内装改修工事【保育課】

ア 北部保育所遊戯室のパーテーションの改修を実施しました。

工事費 2,538,000 円

(6) 防水改修工事【保育課】

ア 中根保育所の軒先防水改修を実施しました。

工事費 356,400 円

(7) トイレ増築工事【保育課】

ア 木間ヶ瀬保育所のトイレ増築工事を実施しました。

工事費 27,540,000 円

(8) 漏水改修工事【保育課】

ア 北部保育所の調理室内給湯管の漏水改修を実施しました。

工事費 730,080 円

イ 中根保育所の屋外手洗いの漏水改修を実施しました。

工事費 114,480 円

ウ 中根保育所の給水バルブの漏水改修を実施しました。

工事費 284,580 円

エ 東部保育所の屋外水道管の漏水改修を実施しました。

工事費 388,800 円

(9) 火災報知設備改修工事【保育課】

ア 北部保育所の火災報知設備の改修を実施しました。

工事費 285,930 円

◎民間施設援護対策費

○民間施設援護対策費

(1) 私立保育所等保育事業補助金【保育課】

増加する保育需要に対応し、多様な保育サービスを提供するため民間活力の導入を図り、市内の民設民営の保育所が実施する延長保育等の保育サービスに係る経費の一部を助成し、市全体の保育サービスの向上を図りました。

また、待機児童及び保留者を解消するため、既存保育所の定員を増加し、定員を増加した結果、保育所運営費に係る公定価格の単価が下がる保育所に対して、既存定員による公定価格の単価との差額分を補填する事業を実施しました。

施設名	聖華保育園	コピープリスクールのだ保育園
設置運営主体	社会福祉法人 聖華	株式会社 コピーアンドアソシエイツ
定員	70人	60人
年間延べ保育実施児童数	995人（管外受託含む）	865人（管外受託含む）
設置場所	野田市上三ヶ尾454-1	野田市中野台564-2
建物	鉄筋コンクリート造2階建	木造2階建
延べ床面積	718.81㎡	398.37㎡
開設日	平成16年4月1日	平成18年4月1日
保育サービスの概要	平日は午後8時まで延長保育実施 （午後8時までの延べ利用人数 33人） 一時保育実施：延べ利用人数 985人 地域子育て支援センター事業実施： 延べ利用人数 1,170人	平日は午後8時まで延長保育実施 （午後8時までの延べ利用人数 68人）
支出額	26,803,000円	7,911,000円

施設名	コピープリスクールせきやど保育園	アスク七光台保育園
設置運営主体	株式会社 コピーアンドアソシエイツ	株式会社 日本保育サービス
定員	70人	70人
年間延べ保育実施児童数	990人（管外受託含む）	993人（管外受託含む）
設置場所	野田市なみき2-3-3	野田市谷津367
建物	木造平屋建	木造平屋建
延べ床面積	496.32㎡	497.41㎡
開設日	平成21年4月1日	平成21年4月1日
保育サービスの概要	平日は午後8時まで延長保育実施 （午後8時までの延べ利用人数 16人） 一時保育実施：延べ利用人数 155人	午後8時まで延長保育実施 （午後8時までの延べ利用人数 49人） 一時保育実施：延べ利用人数 295人 地域子育て支援センター事業実施： 延べ利用人数 1,448人
支出額	13,619,000円	20,725,000円

施設名	アスク川間保育園	コピープリスクールさくらのさと保育園
設置運営主体	株式会社 日本保育サービス	社会福祉法人 コピーソシオ
定員	70人	60人
年間延べ保育実施児童数	984人（管外受託含む）	1,162人（管外受託含む）
設置場所	野田市尾崎853-1（店舗2階の一部）	野田市桜の里1丁目1-5
建物	鉄骨造2階建（建物本体）	鉄骨造2階建
延べ床面積	411.15㎡	584.16㎡
開設日	平成23年4月1日	平成24年4月1日
保育サービスの概要	平日は午後8時まで延長保育実施 （午後8時までの延べ利用人数 51人）	平日は午後8時まで延長保育実施 （午後8時までの延べ利用人数 78人） 一時保育実施：延べ利用人数 504人
支出額	17,704,000円	6,062,000円

施設名	アスク古布内保育園	コピーブリスクールあたご保育園
設置運営主体	株式会社 日本保育サービス	社会福祉法人 コピーソシオ
定員	90人	150人
年間延べ保育実施児童数	1,176人(管外受託含む)	1,741人(管外受託含む)
設置場所	野田市古布内 1527-13	野田市宮崎 101-1
建物	鉄骨造 2階建	鉄骨造 2階建
延べ床面積	681.05㎡	979.93㎡
開設日	平成26年4月1日	平成26年11月1日
保育サービスの概要	平日は午後8時まで延長保育実施 (午後8時までの延べ利用人数 21人)	平日は午後8時まで延長保育実施 (午後8時までの延べ利用人数 104人)
支出額	13,145,000円	17,436,000円

施設名	すくすく保育園	ひばり保育園(事業所内保育所)
設置運営主体	社会福祉法人すくすくどろんこの会	医療法人社団 圭春会
定員	90人	60人(内、地域枠15人)
年間延べ保育実施児童数	1,106人(管外受託含む)	612人(管外受託含む)
設置場所	野田市山崎 1952	野田市横内 164-7(1階)
建物	木造 2階建	鉄筋コンクリート 2階建(建物本体)
延べ床面積	632.66㎡	389.61㎡
開設日	平成24年4月1日	平成27年10月1日
保育サービスの概要	平日は午後8時まで延長保育実施 (午後8時までの延べ利用人数 92人)	平日は午後8時まで延長保育実施 (午後8時までの延べ利用人数 3人)
支出額	11,793,000円	2,288,000円

施設名	すくすく保育園分園
設置運営主体	社会福祉法人すくすくどろんこの会
定員	54人
年間延べ保育実施児童数	368人(管外受託含む)
設置場所	野田市山崎 1134-1
建物	木造 2階建
延べ床面積	448.63㎡
開設日	平成28年4月1日
保育サービスの概要	平日は午後8時まで延長保育実施 (午後8時までの延べ利用人数 11人)
支出額	5,840,000円

(2) 認定こども園施設整備事業補助金【保育課】

「待機児童・保留者解消野田市計画」における保育の量の確保のため、保育所等整備交付金と千葉県認定こども園施設整備交付金を活用し、新たに幼保連携型認定こども園の建設に係る経費の一部を助成し、待機児童対策に寄与しました。

施設名	聖華未来のこども園
設置運営主体	学校法人 白須賀学園
定員	保育を必要とする子ども 69人 保育を必要とする子ども以外の子ども 97人

設 置 場 所	野田市山崎 1778-1
建 物	鉄筋コンクリート 2 階建・鉄骨造 1 階建
延 べ 床 面 積	1408.38 m <sup>2</sup>
開 設 日	平成 29 年 4 月 1 日
保 育 サ ー ビ ス の 概 要	平日は午後 8 時まで延長保育実施 一時保育実施 地域子育て支援センター事業実施
支 出 額	256,316,000 円

◎子どもの給食等の安全確保対策推進費

○子どもの給食等の安全確保対策推進費

- (1) 保育所給食等の食の安全・安心を確保するために「調理前給食食材検査」と「調理後給食 1 日まるごと検査」を実施することで、食材の安全が確認されました。【保育課】

ア 1,669,131 円 (検査員賃金他)

◎保育士確保支援事業費

○保育士確保支援事業費

- (1) 合同就職説明会の開催【保育課】

保育士確保対策のため、市内認可保育所等を運営する 8 法人に参加していただき、潜在保育士や新卒保育士などを対象に「合同就職説明会」を開催しました。また、この就職説明会の参加者 4 人が市内認可保育所へ就職したことで、保育士確保につながる機会とすることができました。

事業名	開催日	場所	参加者数
合同就職説明会	平成 28 年 8 月 21 日 (日)	市役所 8 階大会議室	39 人

- (2) 保育士宿舎借上げ支援【保育課】

市内の保育所に勤務する保育士のために、私立保育所等を運営する事業者が市内に宿舎を借り上げた家賃について、市が補助を行い、3 人の保育士確保に寄与しました。

- (3) 保育士募集ポスターの作成【保育課】

保育士募集ポスター「野田市、保育士、待遇良し」を作成し、市内公共施設に掲示し、広く市民等に周知することで、保育士確保に努めました。

繰越明許費

◎保育所施設整備費

○保育所施設整備費

- (1) 平成 27 年度から繰り越した事業【保育課】

事業名	支出額	概要
野田市立尾崎保育所屋根等改修工事	14,364,000 円	老朽化に伴う雨漏り対策のため、屋根改修工事を実施しました。
野田市立尾崎保育所調理室天井改修工事	1,296,000	平成 27 年度から繰り越した屋根工事の中で、工事範囲である調理室の屋根部分を剥がした際に腐食が確認されたため天井改修を実施しました。

- (2) 平成 29 年度へ繰り越した事業【保育課】

事業名	繰越額	概要
野田市立乳児保育所給水設備改修工事	4,266,000円	漏水が見つかり、主な工事を保育への影響が少ない土日としたことで時間を要し、次年度への繰り越しが必要となりました。

## 20 障がい児福祉

◎障がい児通所支援事業費

○障がい児通所支援事業費【障がい者支援課】

種別	利用日数	利用人数	
		延べ人数	実利用人数
児童発達支援	8,420日	934人	99人
医療型児童発達支援	0	0	0
放課後等デイサービス	22,075	2,990	184
障害児相談支援	—	748	262
保育所等訪問支援	32	27	11

◎障がい児援護対策費

○障がい児援護対策費【障がい者支援課】

事業	内容
軽度・中等度難聴児補聴器購入費助成	受給者数 2人

## 21 あさひ育成園

◎あさひ育成園管理運営費

○あさひ育成園管理運営費

(1) 福祉型児童発達支援センター【障がい者支援課】

児童福祉法に基づく福祉型児童発達支援センターで、就学前の肢体不自由児や運動機能発達遅滞児を対象に機能訓練等の療育に関する支援を実施しました。

児童と保護者が共に通園し、運動機能の訓練や生活指導等の療育について、保護者と連携をとりながら児童の育成に努めており、平成28年10月からは、保護者の希望に応じて就学前の園児を中心に母子分離や園内分離を実施しました。

児童に対しては、囑託医（月2回）による診察、理学療法士による機能回復訓練（月24回）と臨床心理士による個々の発達程度に応じた心理指導（月1回）を行い、保護者と一体となって児童の年齢や心身の状況に応じた支援に努めました。この結果、少しずつではありますが、運動機能の回復や情緒の安定などが見られるようになりました。

また、心身の発達に遅れがある児童又は疑いのある児童並びにその保護者を対象に外来療育相談を毎月2回実施し、平成28年度の相談件数は延べ31件でした。

平成28年度の卒園児は1人（男子1人）で、千葉県立野田特別支援学校に就学しました。なお、平成28年度の児童発達支援の利用者は8人（男子5人、女子3人）でした。

また、保護者の希望に応じ、平成28年10月分以降の利用料と給食費の納付方法について、新たに口座振替を開始しました。

平成27年4月から指定管理者制度を導入しています。

指定管理者 社会福祉法人はーとふる

指定期間 4年間（平成27年4月1日から平成31年3月31日まで）

(2) 主な行事等【障がい者支援課】

行事名	回数	場所
誕生会	5回	あさひ育成園
遠足	1	東京ディズニーランド
園外療育	1	アグリパークゆめすぎと
七夕夏祭り	1	あさひ育成園
運動会	1	あさひ育成園
ポニー牧場外出	1	清水公園
七五三お参り	1	櫻木神社
クリスマス会	1	あさひ育成園
豆まき	1	あさひ育成園
お別れ遠足	1	東京ドームシティ アソボ〜ノ！
卒園式	1	あさひ育成園

## 22 こだま学園

◎こだま学園管理運営費

○こだま学園管理運営費

(1) 福祉型児童発達支援センター【障がい者支援課】

児童福祉法に基づく福祉型児童発達支援センターで、就学前の知的障がい児の通所支援に加え、障がいのある児童とその家族を対象とした相談支援や、保育所等の施設に通う障がいのある児童に対し施設を訪問して支援するなど、地域支援に対応しました。

児童発達支援事業においては、児童が保護者のもとから日々通園し、独立自活に必要な療育指導として、基本的な生活習慣や集団生活を身につけさせる等、保護者と連携をとりながら児童の育成に努めました。また、通所児童に対し、臨床心理士による心理指導と嘱託医による診察を毎月各1回実施しました。これらの支援により、情緒や行動について成果が見られるようになりました。

平成28年度の卒園児は13人(男子11人、女子2人)で、野田市立南部小学校1人、野田市立二川小学校1人、千葉県立野田特別支援学校に11人就学しました。

平成28年度の児童発達支援の利用者は27人(男子25人、女子2人)、障害児相談支援の利用者は73人(男子55人、女子18人)、保育所等訪問支援の利用者は21人(男子17人、女子4人)でした。

また、施設の有する専門機能を活かし、地域の中核的な療育支援施設として活動しました。発達の遅れや心配の見られる児童とその保護者を対象に療育相談、発達検査及び個別療育を毎週火曜日に実施し、平成28年度の利用件数は療育相談延13件、発達検査延16件、個別療育延11件でした。

また、保護者の希望に応じ、平成28年10月分以降の利用料と給食費の納付方法について、新たに口座振替を開始しました。

平成27年4月から指定管理者制度を導入しています。

指定管理者 社会福祉法人は一とふる

指定期間 4年間(平成27年4月1日から平成31年3月31日まで)

(2) 借地料 54,428円(通園バスの通行に必要な道路用地:134.39㎡)【障がい者支援課】

## (3) 主な行事等【障がい者支援課】

行事名	回数	場所
誕生会	11回	こだま学園
運動会	1	あすなろ職業指導所体育館
遠足	1	もりのゆうえんち
クリスマス会	1	こだま学園
節分会	1	こだま学園
親子遠足	1	葛西臨海水族園
卒園式	1	こだま学園

## 23 学童保育所

◎学童保育所管理運営費

○学童保育所管理運営費

## (1) 学童保育所別年間延べ入所児童数【児童家庭課】

学童保育所名	定員	保育室面積 (㎡)	1人当たり保育 面積 1.65 ㎡で 除した人数 ※	年間延べ入 所児童数	月平均入所 児童数	指導員数
野田学童保育所	50人	156.8 ㎡	95人	595人	50人	2人
柳沢学童保育所	40	64.0	38	156	13	2
清水学童保育所	40	74.4	45	444	37	2
南部学童保育所	40	63.0	38	969	81	4
東部学童保育所	40	74.4	45	437	36	2
川間学童保育所	40	74.4	45	422	35	2
福田学童保育所	40	74.4	45	88	7	2
岩木学童保育所	50	89.1	54	507	42	2
宮崎学童保育所	40	74.4	45	234	20	2
山崎学童保育所	40	68.3	41	87	7	2
七光台学童保育所	40	70.9	42	146	12	2
尾崎学童保育所	40	64.0	38	188	16	2
二ツ塚学童保育所	40	82.0	49	483	40	2
北部学童保育所	40	98.0	59	1,236	103	4
みずき学童保育所	80	93.5	56	459	38	2
三ヶ尾学童保育所	10	76.6	46	354	30	2
木間ヶ瀬学童保育所	30	64.0	38	256	21	2
二川学童保育所	30	131.5	79	705	59	4
関宿中央学童保育所	30	66.2	40	275	23	2
関宿学童保育所	40	66.0	40	196	16	2
清水第二学童保育所	38	64.0	38	850	71	4
岩木第二学童保育所	70	128.0	77	1,459	122	4
七光台第二学童保育所	58	96.0	58	1,107	92	4
尾崎第二学童保育所	38	64.0	38	724	60	4
関宿中央第二学童保育所	40	66.2	40	620	52	2



野田第二学童保育所	41	184.5	111	950	79	4
柳沢第二学童保育所	38	64.0	38	430	36	2
山崎第二学童保育所	38	64.0	38	495	41	2
宮崎第二学童保育所	47	78.5	47	1,070	89	4
みずき第二学童保育所	48	80.5	48	682	57	2
南部第二学童保育所	40	68.0	41	212	18	2
南部第三学童保育所	40	67.0	40	300	25	2
合 計	1,336	2,650.6	1,592	17,136	1,428	82

※ 野田市放課後児童健全育成事業の設備及び運営に関する基準を定める条例で、児童1人につきおおむね1.65㎡以上の保育専有面積を確保することとしています。また、1日の出席児童数がおおむね40人以上の場合は、支援の単位を2つに分け指導員を各々2名配置することとしています。第二、第三学童保育所のある小学校区については、入所先を保護者が自由に選択しています。指導員は上記のほか、障がい児加配等の対応をしています。

(2) 借地料 1,040,100円（北部学童保育所用地ほか：計2,477.85㎡）【児童家庭課】

(3) 学童保育所設置工事【児童家庭課】

過密化対策として、野田第二学童保育所の増設工事及び清水第三学童保育所の新設工事を行いました。

学童保育所名	区分	支出額	概要
野田第二学童保育所	工事請負費	19,440,000円	野田第二学童保育所整備（増設）工事 ※1
清水第三学童保育所		12,204,000	清水第三学童保育所新設工事 ※2

※1 平成28年12月21日から利用を開始しました。

※2 平成29年4月1日から利用を開始しました。

繰越明許費

◎学童保育所管理運営費

○学童保育所管理運営費

(1) 平成29年度へ繰り越した事業【児童家庭課】

学童保育所名	区分	支出額	概要
北部学童保育所	委託料	1,944,000円	北部学童保育所新築工事再設計業務委託

## 24 児童館

◎児童館管理運営費

○児童館管理運営費

(1) 子育て支援講演会【児童家庭課】

子育てをする保護者に対して、子育て方法について学んでいただくことを目的に講演会を実施しました。

区 分	内 容
日 時	平成28年10月13日(木) 午前10時～午前11時30分
会 場	野田市役所 8階 大会議室
参 加 者	211人
講 師	筑波大学教授 子ども支援研究所長 徳田 克己 氏
テ ー マ	心の強い子どもを育てる子育ての秘訣

## (2) 児童館別利用者数【児童家庭課】

児童館名	延べ利用者数
中央子ども館	15,404人
うめさと子ども館	12,269
谷吉子ども館	13,782
山崎子ども館	12,562
七光台子ども館	19,046
関宿子ども館	10,532
合計	83,595

## (3) 指導別活動状況【児童家庭課】

指導内容	開催回数	延べ参加人数
子育て支援活動※1	811回	14,558人
クラブ活動※2	187	1,368
合同行事	48	2,301
体力づくり	206	944
創作活動	646	2,814
自然活動	82	539
情操活動	108	877
その他	492	4,211
フリー利用者		55,983
合計		83,595

※1 幼児（小学生未満）を対象にしたサークル活動

※2 小学生を対象としたクラブ活動

## (4) 借地料 1,197,861円（うめさと子ども館用地ほか：1,219.43㎡）【児童家庭課】

○子ども館機能充実事業費

- (1) 市内6か所の児童館の休館日（年末年始を除く月曜日、火曜日、祝日及び火曜日が祝日の場合の翌日）の管理業務を社会福祉法人野田市社会福祉協議会へ委託し、児童館の利用促進を図りました。【児童家庭課】

児童館名	管理委託日の延べ利用者数
中央子ども館	2,912人
うめさと子ども館	2,061
谷吉子ども館	2,178
山崎子ども館	1,803
七光台子ども館	1,651
関宿子ども館	1,893
合計	12,498

## 25 子ども支援室

◎子ども支援室管理運営費

○子ども支援室管理運営費

- (1) 妊娠期から18歳までの様々な相談をワンストップで継続的に対応できる拠点として保健師、保育士、臨床発達心理士、臨床心理士、子育て支援総合コーディネーターを配置し、継続的な支援が必要な人にはケアプランを作成し、関係機関と連携して支援しました。

また、平日来室できない方のために平成28年10月から、毎月第2日曜日に妊娠届出受付と母子健康手帳交付を開始したところ、26件の届出がありました。【保健センター】

妊娠届等対応件数		ケアプラン作成件数	
妊娠届出	879件	ゆりかごプラン（妊婦用）	166件
転入妊婦	77		
合計	956		

妊娠届以外の相談件数		ケアプラン作成件数	
電話	651件	すこやかプラン（子ども用）	35件
来室	255		
出張	1		
訪問	9		
文書	0		
合計	916		

- (2) 乳児期から絵本に親しむとともに、赤ちゃんと保護者がゆっくり向き合い、心ふれあうひとときを持つきっかけづくりのため、絵本、イラストアドバイス集、コットンバッグ及び市の配布物を入れた「ブックスタート・バック」を図書館と連携し、誕生の祝品として3か月児健康診査時に交付しました。【保健センター】

品名	件数
ブックスタート・バック	897件

## 26 扶助

◎生活保護費

○法内援護費

- (1) 生活保護援護費【生活支援課】

		平成29年3月分 受給状況		年間保護状況	
		世帯数	人員	延べ人員	保護費支給額
法内援護	生活扶助	1,063世帯	1,490人	17,747人	871,888,785円
	住宅扶助	1,028	1,441	17,286	470,612,149
	教育扶助	100	144	1,577	18,552,374
	介護扶助	194	206	2,402	66,428,150
	医療扶助	1,108	1,424	17,694	1,570,518,767
	出産扶助	0	0	2	570,165
	生業扶助	42	47	500	7,840,230
	葬祭扶助	6	6	35	6,118,053
	保護施設事務費	5	5	60	11,908,651
	就労自立給付金	1	2	32	797,699
計	3,547	4,765	57,335	3,025,235,023	
法外援護	0	0	0	0	
合計	3,547	4,765	57,335	3,025,235,023	

## 27 災害救助

### ◎災害援護費

#### ○災害援護費

##### (1) 民間借上住宅提供事業【生活支援課】

東日本大震災に係る被災者・避難者向けに民間賃貸住宅の借上げによる応急仮設住宅を提供しました。

契約件数	賃貸借料
20 件	14,825,136 円

##### (2) 被災者等住宅再建資金利子補給金【営繕課】

東日本大震災による被災住宅を再建するため金融機関から融資を受けた被災者等に対し、返済に係る利子補給金を交付し支援しました。

平成 28 年度の利子補給状況は、次のとおりです。

交付件数	利子補給額
4 件	134,520 円

※ 交付した 4 件は平成 24 年度からの継続です。平成 25、26、27、28 年度の新規申請はありませんでした。